

CyberLink

PowerDVD 9

ユーザーガイド



著作権について

All rights reserved. CyberLink Corporation の文書による許可なく本書の一部あるいは全部を作り変えたり、検索システムに保存したり、あるいは電子的、機械的、フォトコピー、記録的方法を含め、いかなる方法においても転送することを禁止します。

法律の認める範囲において、PowerDVD は情報、サービス、または PowerDVD に関連して提供される製品についていかなる保証も行わないこと、商品性、特定目的への適合性、プライバシー保護の見込み、非侵害性についていかなる暗示的保証も行わないことを含め、明示または暗示の有無に関わらずいかなる保証も行わず現状のままで提供されます。

このソフトウェアをご使用になると、お客様は CYBERLINK がこのソフトウェアまたはこのパッケージに含まれる素材を使用した結果生じる直接的、間接的、結果的損失について一切責任を負わないことに同意したものとみなされます。

ここに記載する条件は、台湾の法律により管理および解釈されるものとします。

PowerDVD は本書に記載されるその他の会社名および製品名と同じく登録商標であり、識別を目的としてのみ記載されており、その所有権は各社が所有しています。

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Pro Logic, the "AAC" logo, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright 1992–2004 Dolby Laboratories. All rights reserved. Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,003,467; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and DTS Digital Surround are registered trademarks and the DTS logos, Symbol and DTS 96/24 are trademarks of DTS, Inc. © 1996–2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS is a registered trademark and the DTS logos, Symbol, DTS-HD and DTS-HD Master Audio are trademarks of DTS, Inc. © 1996–2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

本社

所在地	CyberLink Corporation 15F, #100, Minchiuan Road, Shindian City Taipei 231, Taiwan
Web サイト	www.cyberlink.com
電話	886-2-8667-1298
Fax	886-2-8667-1300

Copyright © 2009 CyberLink Corporation. All rights reserved.

目次

紹介	1
ようこそ	2
このバージョンの新機能	2
PowerDVD のプログラムとモード	3
主な機能	6
PowerDVD バージョン	8
システム要件	9
Windows XP Service Pack 3 をお使いの方	9
Windows Vista	12
 PowerDVD ムービーの追加機能.....	17
ムービー情報ページ	18
MoovieLive	18
ムービー情報	18
Movie Remix	19
パーソナルメモ	20
ディスク情報	21
ムービーコレクション	22
マイムービー	22
マイ Movie Remix	23
PowerDVD での再生記録	24
Movie Remix ルーム	25
シーンの選択	26
シーンにエフェクトを追加	27
シーンのトリミングとエフェクトの編集	30
Remix の仕上げ	38

PowerDVD の使い方 41

メディアの再生	42
対応するメディアの種類と形式	42
ビデオディスクの再生	43
Movie Remix の再生	44
オーディオ CD の再生	44
ファイルの再生	45
再生コントロール	48
メインコントロール	48
チャプタービューワー	52
TrueTheater エフェクトウィンドウ	53
拡張機能	54
エクスプレスメニュー	60
ミニプレイヤーモード	66
その他のホットキーと機能	67
特殊キーボード用追加ホットキー	68
メニューへのアクセス	69
市販ディスクのメニュー	69
再生メニュー	70
Blu-ray ディスクのポップアップメニュー	71
DVD-VR 形式でのメニューの使用	71
再生中の便利な機能	73
タイムサーチ	73
お気に入りのシーンのフレームをキャプチャする (スナップ ショット)	73
外部字幕の読み込み	75
カラオケ DVD/VCD の再生	76

設定 77

ユーザーインターフェイスの設定	78
プレイヤーの設定	80
プレイヤーの詳細設定	81
動画の設定	86
動画詳細設定	88

音声の設定	92
音声の詳細設定	96
アスペクト比の設定	102
DVD の設定	105
Blu-ray ディスクの設定	107
Blu-ray ディスクの設定	108
MoovieLive の設定	110
Movie Remix の設定	112
技術情報	113
モバイル電源の設定	114

テクニカルサポート 117

テクニカルサポートにお問い合わせになる前に	118
ウェブサポート	119

索引 121

第1章：

紹介

この章では、CyberLink PowerDVD の主な機能とプログラムの概要について説明します。このプログラムを使用するための最小システム要件、および最新バージョンのソフトウェアへのアップグレード方法についても説明します。

注： 当ガイドの内容および対応するプログラムは予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

この章の構成は、以下の通りです。

- ・ 「ようこそ」 2 ページ
- ・ 「PowerDVD のプログラムとモード」 3 ページ
- ・ 「システム要件」 9 ページ

ようこそ

CyberLink のホームエンターテイメント製品をご利用いただきありがとうございます。CyberLink DVD は、通常の DVD プレイヤーと同様に使えるソフトウェアディスクプレイヤーです。CyberLink PowerDVD のナビゲーションコントロールを使うと、好みに合わせて、インタラクティブな視聴をお楽しみいただけます。

Blu-ray ディスク*、DVD、VCD、および様々な動画音声形式に対応しています。AVCHD* および AVCRC* ディスクの再生も可能なバージョンもあります。

また、二つのモード (クラシックモード & シネマモード) を提供し、Movie Remix ルーム* でお気に入りムービーのマイバージョンを作成したり、ムービーコレクション* で、ムービー視聴履歴をチェックしたりすることもできます。

CyberLink PowerDVD は、PC 向けの総合ディスクプレイヤーです。ムービーライフをお楽しみください。

このバージョンの新機能

CyberLink PowerDVD 9 の新機能は以下の通りです。

- AVCHD および AVCRC の再生に対応*。
- BD-R 1.1*、BD-RE 2.1*、BD Profile 1.1 (ボーナスビュー)*、BD Profile 2.0 (BD Live)* の再生に対応。
- TrueTheater ビデオエンハンスメント技術。
- PowerDVD シネマ再生モード (リモコン対応)*。
- PowerDVD MCE プラグイン (Windows Media Center 対応)*。
- チャプターサムネイルビューワー。

注 : * CyberLink PowerDVD のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

PowerDVD のプログラムとモード

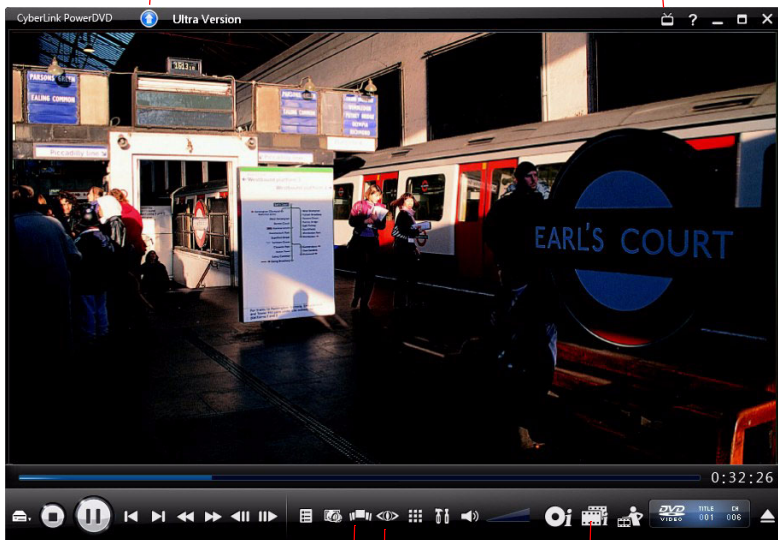
CyberLink PowerDVD は、ムービーコンテンツを視聴するのに二つのモードが利用できます。クラシックモードは、今までと同様の使いやすいモードで、以下のように表示されます。

アップグレード

CyberLink PowerDVD をアップグレードします。

シネマモード

シネマモードは、リモコンを使って離れた場所からムービーを視聴するモードです。



チャプタービューワー

楽しいデザインで、ディスクのチャプターサムネイルを表示します。

ムービーコレクション

マイムービー、Movie Remix、再生記録を確認します。

TrueTheater コントロール

TrueTheater ビデオエフェクトのコントロールにアクセスします。

シネマモードは、リモコンを使って離れた場所 (3.5 メートル程度) でムービーを視聴するのに適しています。シネマモードに切り替えるには、タイトルバー上の  ボタンを選択します。シネマモードは以下のように表示されます。

ナビゲーション

ナビゲーションボタンは、Windows と同じように操作ができます。

クラシックモード

CyberLink PowerDVD の [クラシックモードに切り替え] を選択します。



再生コントロール

メディアを再生したり、ディスクメニューにアクセスしたりします。

ビデオエンハンスメントコントロール TrueTheater およびハードウェアアクセラレーションのコントロールにアクセスします。

シネマモードは、クラシックモードの機能をシンプルにしたものです。

注： CyberLink PowerDVD のシネマモード機能の詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

CyberLink PowerDVD 9 は、Windows Media Center* にも直接プラグインできます。CyberLink PowerDVD 9 のショートカットは、Windows Media Center の TV + Movie セクションにあります。

注： * CyberLink PowerDVD のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

主な機能

CyberLink PowerDVD の主な機能は、以下の通りです。

- Blu-ray ディスクを再生*。
- AVCHD* and AVCREC* ディスクを再生。
- DivX、DVD (MPEG-2)、DVD+VR、DVD-VR、DVD-Audio、VCD (MPEG-1)、SVCD、MiniDVD 形式、およびハードディスクドライブ (HDD) の DVD ファイルを再生。
- 二種類の再生モード：クラシックモード・シネマモード*。
- ディスクのチャプターサムネイル (FancyView & グリッド・ビュー) を表示するチャプタービューワー。
- Movie Remix ルームでお気に入りムービーのマイバージョンを作成*。
- ムービーコレクションで、ディスクコレクション、お気に入りムービー、Movie Remix、再生記録をチェック。
- MoovieLive ウェブサイトで、ムービーのレビューを読んだり、他の人と Movie Remix を共有。
- TrueTheater HD* は、元の動画をより高い解像度 (よりシャープ、ノイズなし) にアップスケール。480p から 1080p までアップサンプリング可能。

- TrueTheater Motion* 機能を使うと、フレームレートを 24fps から 60fps にアップサンプリングし、アクションムービー等の動きのあるシーンをよりスムーズに表示。
- TrueTheater Lighting* (CyberLink Eagle Vision) は、明るさ、コントラスト、彩度を調整するビデオエンハンスメント技術。
- TrueTheater Stretch* (CyberLink Pano Vision) は、画像中央のゆがみを最少に抑えるビデオストレッチング技術。
- TrueTheater Surround* (CyberLink マルチチャネル環境印象モード) は、複数のチャンネル出力へステレオサウンドを変換する音声チャンネル拡張技術。
- TrueTheater Surround* (バーチャルスピーカモード) は、CyberLink が開発したバーチャルサラウンド技術。
- TrueTheater Surround* (ヘッドフォンモード) は、ヘッドフォンサラウンド音声を提供する技術。
- 独自の二重字幕機能。
- CyberLink モビリティ機能で、ノートブックパソコンでの再生時間を延長。
- ロケーション インジケータ搭載の 4X/9X デジタルズーム。
- 2 点間リピート機能で、お気に入りのシーンをリピート再生。
- お気に入りのブックマークをインポート & エクスポート。
- スマートビデオデインターレースで、画像をよりスムーズに、クリアに表示。

注 : * CyberLink PowerDVD のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

PowerDVD バージョン

CyberLink PowerDVD で利用可能な機能は、お使いのバージョンによって異なります。

注： バージョン情報は、タイトルバーの [アップグレード] ボタンの隣に記載されています。

バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。ビルド番号を確認するには、左上の PowerDVD ロゴをクリックするか、キーボードで Ctrl+A を押してください。

ソフトウェアのアップグレード

CyberLink では、定期的にソフトウェアのアップグレードを提供しています。アップグレードが可能になると、自動的に確認メッセージが表示されます。

注： この機能を使うには、インターネットに接続する必要があります。

ソフトウェアのアップグレードをするには、次の操作を行います。

1. 次のいずれかの操作を行って、アップグレード情報のダイアログボックスを開きます。
 -  ボタンをクリックします。
 - キーボードの [I] キーを押します。
 -  をクリックし、[アップグレード] をクリックします。
2. アップグレードする機能をクリックします。
3. [アップグレード情報] のウィンドウが開きます。

システム要件

CyberLink PowerDVD のシステム要件は、ご利用のオペレーションシステム (Windows XP/Vista) によって異なります。Windows のバージョンに合ったシステム要件を確認してください。

CyberLink PowerDVD は、処理能力に適したビデオ デインターレースを選択することで、パフォーマンスを最適化します。TrueTheater Lighting 技術をオフにする (デフォルト) ことで、1.6GHz 以下のプロセッサに対応します。高度な音声および動画の機能を使う場合は、2.4 GHz 以上のプロセッサが適しています。

Windows XP Service Pack 3 をお使いの方

インストールする前に、システムが最小要件を満たしているか確認してください。

DVD 再生

Windows XP で DVD を再生するために必要なシステム要件は、以下の通りです。

CPU

Intel :

- **最小要件** : Pentium 4 2.4 GHz。
- **推奨環境** : Pentium 4 3.0 GHz 以上。

AMD :

- **最小要件** : Sempron 2600+ 1.6 GHz。
- **推奨環境** : Athlon 64 2800+ 1.8GHz 以上。

システムメモリ (RAM)

- 512 MB 以上。

ディスクドライブ

- DVD-ROM、DVD-R/RW、DVD-RAM、DVD+R/RW、DVD Dual、DVD-Multi、DVD-ROM/CD-RW コンボドライブ (1394 対応)、USB2.0、ATAPI、SCSI、CardBus インターフェイス。

グラフィックカード (GPU)

- DirectX 9.0 対応の AGP/PCI Express グラフィックアクセラレータ。

注： グラフィックカードのドライバは必ず最新バージョンにアップデートしてください。

ディスプレイデバイス

- デジタル / アナログ出力用の TV かコンピュータモニター。

Blu-ray ディスク再生

Windows XP で Blu-ray ディスクを再生するために必要なシステム要件は、以下の通りです。

CPU

Intel :

- **最小要件**：Pentium 4 541 (3.2 GHz)、Pentium D 840 (3.2 GHz)、Pentium D 930 (3.0 GHz)、935 3.2GHz または 940 (3.2 GHz)、Core Duo T2400 (1.83 GHz)、Pentium M 755 (2.0 GHz)、Core 2 Duo E4300 1.8 GHz または T5600 1.83 GHz。
- **推奨環境**：Pentium EE 840 (3.2 GHz) または 955 (3.4 GHz) または 965 3.73 GHz、Pentium D 945 (3.4 GHz)、950 (3.4 GHz) または 960 (3.6 GHz)、Core Duo T2500 (2 GHz)、T2600 (2.16 GHz) または T2700 (2.33 GHz)、Core 2 Duo E6300 (1.8 GHz)、E6400 (2.13 GHz)、E6600 (2.4 GHz)、E6700 (2.66 GHz) または X6800 (2.93 GHz)、T7200 (2.00 GHz)、T7400 (2.16 GHz)、T7600 (2.33GHz)、Core 2 Quad Q6600 2.4 GHz、Core 2 Extreme QX6700 2.66 GHz、または X6800 2.93 GHz。

AMD :

- **最小要件** : Athlon 64 X2 3800+ (2 GHz) または 4000+ (2 GHz) 、Turion 64 X2 TL-50 (1.6 GHz) 、TL-52 (1.6 GHz) または TL-56 (1.8 GHz) 。
- **推奨環境** : Athlon 64-FX、FX-60 (2.6 GHz) または FX-62 (2.8 GHz) 、Athlon 64 X2 4200+ (2.2 GHz) 、4400+ (2.2 GHz) 、4600+ (2.4 GHz) 、4800+ (2.4 GHz) または 5000+ (2.6 GHz) 、Turion 64 X2 TL-60 (2.0 GHz) 。

システムメモリ (RAM)

- 512MB 以上、1GB を推奨。

ディスクドライブ

- スーパー マルチ ブルー コンボ ディスク ドライブ。
- BD-ROM/BD-RE。

グラフィックカード (GPU)

Intel :

- 965、G33、G35、G45 graphics software decoder (Intel Core 2 Duo E6700 (2.66GHz) / AMD Athlon 64 FX-62 (2.8GHz) 以上を推奨) 。
- **推奨するドライバのバージョン** : 15.8 以上。
- **ビデオ RAM** : メモリ 256 MB 以上。

NVIDIA :

- **最小要件** : GeForce 7600 GT、GeForce 7800 GTX 512、GeForce 7900 GX2、GeForce 7900 GTX、GeForce 7950 GX2。
- **推奨環境** : GeForce 8400 シリーズ、GeForce 8500 シリーズ、GeForce 8600 シリーズ、GeForce 8800 シリーズ、GeForce 9400 シリーズ、GeForce 9600 シリーズ、GeForce 9800 シリーズ、GeForce GTX280。
- **推奨するドライバのバージョン** : 174.53 以上。

- **ビデオ RAM** : グラフィックカードメモリは 256MB 以上が必要です。

ATI :

- **最小要件** : ATI Radeon X1600 シリーズ、X1800 シリーズ、X1900 シリーズ。
- **推奨環境** : ATI Radeon HD 2400 ・ 2600 ・ 2900 シリーズ、ATI MOBILITY RADEON、HD 3400 ・ 3600 ・ 3800 シリーズ、ATI HD 4600 シリーズ、ATI HD 4800 シリーズ。
- **推奨するドライバのバージョン** : 8.44 以上。
- **ビデオ RAM** : グラフィックカードメモリ 256 MB 以上。

注 : グラフィックカードのドライバは必ず最新バージョンにアップデートしてください。

ディスプレイデバイス

- デジタル出力用の HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) 対応のディスプレイ。
- アナログ出力用の TV かコンピュータモニター。

Windows Vista

インストールする前に、システムが以下の要件を満たしているか確認してください。

DVD 再生

Windows Vista で DVD を再生するために必要なシステム要件は、以下の通りです。

CPU

Intel :

- **最小要件** : Pentium 4 2.4 GHz。

- ・ **推奨環境** : Pentium 4 3.0 GHz 以上。

AMD :

- ・ **最小要件** : Sempron 2600+ 1.6 GHz。
- ・ **推奨環境** : Athlon 64 2800+ 1.8GHz 以上。

システムメモリ (RAM)

- ・ 512 MB 以上。

ディスクドライブ

- ・ DVD-ROM、DVD-R/RW、DVD-RAM、DVD+R/RW、DVD Dual、DVD-Multi、DVD-ROM/CD-RW コンボドライブ (1394 対応)、USB2.0、ATAPI、SCSI、CardBus インターフェイス。

グラフィックカード (GPU)

- ・ DirectX 9.0 対応の AGP/PCI Express グラフィックアクセラレータ。

注 : グラフィックカードのドライバは必ず最新バージョンにアップデートしてください。

ディスプレイデバイス

- ・ デジタル / アナログ出力用の TV かコンピュータモニター。

Blu-ray ディスク再生

Windows Vista で Blu-ray ディスクを再生するために必要なシステム要件は、以下の通りです。

CPU

Intel :

- ・ **最小要件** : Pentium 4 541 (3.2 GHz) 、 Pentium D 840 (3.2 GHz) 、 Pentium D 930 (3.0 GHz) 、 935 3.2GHz または 940 (3.2 GHz) 、 Core Duo T2400 (1.83 GHz) 、 Pentium M 755 (2.0 GHz) 、 Core 2 Duo E4300 1.8 GHz または T5600 1.83 GHz。

- **推奨環境** : Pentium EE 840 (3.2 GHz) または 955 (3.4 GHz) または 965 3.73 GHz、Pentium D 945 (3.4 GHz)、950 (3.4 GHz) または 960 (3.6 GHz)、Core Duo T2500 (2 GHz)、T2600 (2.16 GHz) または T2700 (2.33 GHz)、Core 2 Duo E6300 (1.8 GHz)、E6400 (2.13 GHz)、E6600 (2.4 GHz)、E6700 (2.66 GHz) または X6800 (2.93 GHz)、T7200 (2.00 GHz)、T7400 (2.16 GHz)、T7600 (2.33GHz) Core 2 Quad Q6600 2.4 GHz、Core 2 Extreme QX6700 2.66 GHz、または X6800 2.93 GHz。

AMD :

- **最小要件** : Athlon 64 X2 3800+ (2 GHz) または 4000+ (2 GHz)、Turion 64 X2 TL-50 (1.6 GHz)、TL-52 (1.6 GHz) または TL-56 (1.8 GHz)。
- **推奨環境** : Athlon 64-FX、FX-60 (2.6 GHz) または FX-62 (2.8 GHz)、Athlon 64 X2 4200+ (2.2 GHz)、4400+ (2.2 GHz)、4600+ (2.4 GHz)、4800+ (2.4 GHz) または 5000+ (2.6 GHz)、Turion 64 X2 TL-60 (2.0 GHz)。

システムメモリ (RAM)

- 1 MB 以上を推奨。

ディスクドライブ

- スーパー マルチ ブルー コンボ ディスク ドライブ。
- BD-ROM/BD-RE。

グラフィックカード (GPU)

Intel :

- 965、G33、G35 グラフィックス ソフトウェア デコーダ (Intel Core 2 Duo E6700 (2.66GHz) / AMD Athlon 64 FX-62 (2.8GHz) 以上を推奨)。
- **推奨するドライバのバージョン** : 15.8 以上。
- **ビデオ RAM** : メモリ 256MB 以上。

NVIDIA :

- **最小要件** : GeForce 7600 GT、GeForce 7800 GTX 512、GeForce 7900 GX2、GeForce 7900 GTX、GeForce 7950 GX2。
- **推奨環境** : GeForce 8400 シリーズ、GeForce 8500 シリーズ、GeForce 8600 シリーズ、GeForce 8800 シリーズ、GeForce 9400 シリーズ、GeForce 9600 シリーズ、GeForce 9800 シリーズ、GeForce GTX280。
- **推奨するドライバのバージョン** : 174.53 以上。
- **ビデオ RAM** : グラフィックカードメモリ 256MB 以上。

ATI :

- **最小要件** : ATI Radeon X1600 シリーズ、X1800 シリーズ、X1900 シリーズ。
- **推奨環境** : ATI Radeon HD 2400 ・ 2600 ・ 2900 シリーズ、ATI MOBILITY RADEON、HD 3400 ・ 3600 ・ 3800 シリーズ、ATI HD 4600 シリーズ、ATI HD 4800 シリーズ。
- **推奨するドライバのバージョン** : 8.44 以上。
- **ビデオ RAM** : グラフィックカードメモリ 256 MB 以上。

注 : グラフィックカードのドライバは必ず最新バージョンにアップデートしてください。

ディスプレイデバイス

- デジタル出力用の、HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) 対応のディスプレイ。
- アナログ出力用の TV かコンピュータモニター。

第2章：

PowerDVD ムービー の追加機能

この章では、CyberLink PowerDVD で提供している、ユーザーが好みのバージョンのムービーを作成できる Movie Remix 設定などの特別な機能について説明します。[ムービーコレクション]でのディスク管理の方法や、[ムービー情報]ページでのムービーの詳細情報の表示方法を説明します。

この章の構成は、以下の通りです。

- ・「ムービー情報ページ」18 ページ
- ・「ムービーコレクション」22 ページ
- ・「Movie Remix ルーム」25 ページ

ムービー情報ページ

[ムービー情報] ページには、再生中のディスクの詳細情報が表示されます。MoovieLive ウェブサイトからムービー情報をダウンロードします。また、以前視聴したディスクに関しては、コンピュータから保存データを検索します。

[ムービー情報] ページを表示するには、メインコントロールパネルの  を選択します。

[ムービー情報] には、ムービー情報、Movie Remix、視聴履歴、ディスク情報等が表示されます。

MoovieLive

MoovieLive は、ムービーの情報共有が楽しめるウェブサービスです。Moovie Live でできることは、以下の通りです。

- ・ ムービーの評価、レビュー、再生情報を表示。
- ・ ムービーの詳細情報を表示。
- ・ ムービー情報に、レビュー、評価、更新内容を追加。
- ・ ムービーの Movie Remixi を視聴、ダウンロード。
- ・ ムービーのディスク情報を表示。

MoovieLive にサインインするには、[**ムービー情報**] ページ左下の [MoovieLive にサインイン] のリンクをクリックします。

MoovieLive ウェブサイトの機能やサービスに関する詳細は、www.moovielive.com をご覧ください。

ムービー情報

[ムービー情報] ページには、再生中のムービーの詳細情報が表示されます。再生中のムービーに情報が表示されていない場合は、[**ダウンロード**] ボタンをクリックします。

MoovieLive にムービーを追加

再生中のムービーが MoovieLive で見つからない場合は、自分で新しい情報を追加し、アップロードすることができます。

注 :  をクリックし、MoovieLive でムービーを検索してから、情報を追加するようにしてください。

ムービーが見つかったら、情報を入力し、[保存] をクリックします。[アップロード] をクリックし、MoovieLive ウェブサイトに情報を公開します。

ムービーをマイムービーに追加

視聴したムービーが気に入り、今後もレビューを読んだり Movie Remix を視聴したりする場合は、そのムービーを [ムービーコレクション] に追加できます。この処理を行うには、[ムービーを追加] をクリックします。ムービーコレクションに関する詳細は、22 ページの「ムービーコレクション」を参照してください。

レビューの記入と送信

[マイレビュー] の欄にムービーのレビューを入力します。書き終わったら、自分の記録用に保存するか、[アップロード] をクリックして、MoovieLive に送信し、他の人に公開したりできます。

Movie Remix

[Movie Remix] タブには、現在のムービーの Movie Remix が表示されます。これらの Movie Remix は、Movie Remix ルームで作成したものか、MoovieLive でダウンロードしたものです。

注 : * CyberLink PowerDVD のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

Movie Remix に関する詳細は、44 ページの「Movie Remix の再生」を参照してください。Movie Remix の作成に関する詳細は、25 ページの「Movie Remix ルーム」を参照してください。

パーソナルメモ

[パーソナルメモ] タブでは、評価や視聴日など、ムービーの個人的な視聴情報を記録できます。

- **自分の評価** : 星印をクリックして、ムービーの評価を行います。
- **タグ** : MoovieLive ユーザーがムービーのレビューを検索する際に役立つキーワードを、タグに入力します。

再生記録

再生記録セクションにはムービーの視聴履歴が記録されます。CyberLink PowerDVD でムービーを視聴すると、再生記録が追加されます。CyberLink PowerDVD 以外 (映画館やテレビなど) で視聴した場合、[追加] をクリックして再生記録を視聴履歴に追加できます。

- **視聴方法** : ムービーを見た手段を選択します。
- **日付** : ムービーを視聴した日付を入力します。
- **種類** : DVD か Blu-ray ディスクなどの種類を選択します。映画館かテレビで見た場合は、[ムービー] を選択します。
- **時間** : ムービーを視聴した時間を入力します。
- **メモ** : ムービーに関する個人的なメモを入力します。たとえば、どこで誰と見たかなどを記録します。

[保存] ボタンをクリックしてパーソナル メモを保存します。MoovieLive にこの情報を公開する場合は [アップロード] をクリックします。

注 : [ムービーコレクション] には、CyberLink PowerDVD で再生したムービーの視聴履歴が表示されます。詳細については、24 ページの「PowerDVD での再生記録」を参照してください。

ディスク情報

[ディスク情報] タブには、現在ディスクドライブに入っているディスクの詳細情報が表示されます。チャプターのタイトルやディスクのバージョン情報を MoovieLive から取得するには、[ダウンロード] ボタンをクリックします。

注： ムービーのディスクに複数のバージョンがある場合（ワイドスクリーン版、ディレクター カット版、2 枚組み版など）、一覧から選択するか、[ディスクバージョン] の欄にバージョン名を入力します。

チャプタータイトルの編集

CyberLink PowerDVD では、ディスクの各チャプターのタイトルを入力することができます。あとでこのムービーを視聴する場合、タイトルを書き込んでおくと検索が便利です。

チャプタータイトルを編集するには、次の操作を行います。

1. [ディスク情報] タブの [チャプターのタイトルを編集] をクリックします。
2. チャプターの [タイトル] の欄をクリックしてタイトルを入力します。
3. チャプタータイトルの書き込みが終わったら、[保存] ボタンをクリックします。

ムービーコレクション

[ムービーコレクション]には、お気に入りムービー、所有するムービー、作成またはダウンロードした Movie Remix の一覧が表示されます。

注： * CyberLink PowerDVD のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

[ムービーコレクション]を表示するには、メインコントロールパネルで  を選択します。

ムービーコレクションを FancyView で見るには、 ボタンをクリックします。リモコン、ノートブックのタッチパッド、キーボードを使うか、マウスでサムネイルをクリック&ドラッグして、ムービーをスクロールします。

右上の検索機能を使用すると、コレクション内の特定のムービーや Movie Remix を検索できます。

マイムービー

[マイムービー]タブにはユーザーが所有するムービー、または[ムービー情報]タブで追加したムービーの一覧が表示されます。このウィンドウで、お気に入りのムービーを手作業で追加することもできます。

[マイムービー]タブは、視聴したムービーや所有するムービー、興味のあるムービーを記録しておくのに便利です。ムービーを追加すると、ムービータイトルのリンクをクリックするだけで MoovieLive ウェブサイト上のムービー情報にリンクし、Movie Remix を検索することもできます。ムービーの最新のレビューを見るには、[レビュー]のリンクをクリックします。

[マイムービー]にあるムービーの詳細情報を表示するには、 ボタンをクリックします。[ムービー情報]ウィンドウが表示されます。詳細については、18 ページの「ムービー情報」を参照してください。

注 : CyberLink PowerDVD 9 で視聴したムービーには、チャプターアイコン  が表示されます。このアイコンをクリックして、チャプタービューワーのサムネイルを表示します (ディスクがドライブに入っていない場合も表示可能)。

マイムービーにムービーを追加

CyberLink PowerDVD では、まだ見ていないムービーを [マイムービー] に追加することもできます。

ムービーを [マイムービー] に手作業で追加するには、次の操作を実行します。

1. [ムービーを追加] ボタンをクリックします。
2. [ムービーを検索] ウィンドウで、マイムービーに追加するムービーの名前を入力し、[OK] をクリックします。ムービーの候補が一覧表示されます。
3. [検索結果] ウィンドウで追加するムービーを選択し、[OK] をクリックします。
4. ディスクの種類を選択し (ディスクを所有していない、もしくはコレクションに登録するだけの場合は、[ムービー] を選択)、[OK] をクリックします。

注 : 対象のムービーがない場合、[ムービー情報] ウィンドウで手作業で追加します。詳細については、19 ページの「MoovieLive にムービーを追加」を参照してください。

新しいムービーを [マイムービー] に追加したら、[MoovieLive と同期] ボタンをクリックして、更新した情報を MoovieLive ウェブサイトにアップロードし、他の人達と共有します。

マイ Movie Remix

[マイ Movie Remix] タブは、Movie Remix ルームで作成された、もしくは MoovieLive でダウンロードされた Movie Remix の一覧が表示さ

れます。Movie Remix を再生するには、該当するムービーディスクを挿入し、 ボタンをクリックします。

作成した Movie Remix を MoovieLive にアップロードするには、**[MoovieLive にアップロード]** ボタンをクリックします。

PowerDVD での再生記録

[PowerDVD での再生記録] タブには、CyberLink PowerDVD 8 あるいは 9 で再生した視聴履歴が表示されます。

 アイコンをクリックして、チャプタービューワーのチャプターサムネイルを表示します (ディスクがドライブに入っていない場合も表示されます)。 をクリックして、視聴記録を編集します。

Movie Remix ルーム

Movie Remix ルームで、お気に入りムービーのマイバージョンやパロディーを作成することができます。作成した Movie Remix は、MoovieLive ウェブサイトにアップロードして、公開することができます。

注： * CyberLink PowerDVD のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

Movie Remix ルームを見るには、メインコントロールパネルで  を選択します。



[Movie Remix ルーム] では、とてもクリエイティブなシーンが作成できます。お好みでシーンを編集し、文字やオブジェクトや音楽などのエフェクトを追加して、マイバージョンのムービーが作成できます。

CyberLink PowerDVD を使用すると、お気に入りのムービーから、自分スタイルのバージョンが作成できます。

注： Movie Remix の作成や再生には、素材のムービーディスクをディスクドライブにセットしておく必要があります。

シーンの選択

Movie Remix を作成するには、最初に Remix 用に使うシーンを選択します。特定のムービーからシーンを好きなだけ選択できます。

新しいシーンを選択するには、次の操作を行います。

1. [Movie Remix] ウィンドウで  ボタンをクリックして、素材のムービーが表示されているか確認します。
2. 再生コントロールを使用して、使用するシーンの始点を見つけ、 ボタンをクリックします。

注： ディスクメニューにあるシーン選択のボタンは無効化されます。

3. 再生コントロールを使用して、使用するシーンの終点を見つけ、 ボタンをクリックします。
4. 追加したシーンが、ナビゲーションスライダーに黄色で示され、さらにシーン / エフェクトのパネルに表示されます。

注： シーンの編集方法は、後ほど編集ウィンドウで行います。詳細については、30 ページの「シーンのトリミング」を参照してください。

追加するシーンすべてについて、この手順を繰り返します。選択したシーンは、 および  シーンボタンをクリックするか、 ボタンを選択してプレビューします。

注： Movie Remix の作成中に、新しいシーンが選択できます。 ボタンをクリックして、前の手順を再度実行します。

シーンにエフェクトを追加

シーンの選択が終了したら、音楽、文字、各種オブジェクトや画像など、さまざまなエフェクトが追加できます。追加するエフェクトの数やタイプは、自由に決められます。想像力を思い切り発揮してください。

エフェクトの追加

シーンにエフェクトを追加すると、特定の瞬間に注目を集めたり、オブジェクト、画像、カスタムの字幕、BGM などを使用してユーモアあふれる作品にしたりできます。

シーンにエフェクトを追加するには、次の操作を行います。

1. シーン / エフェクトのパネルで、エフェクトを追加するシーンをダブルクリックします。



2. 再生コントロールを使用して、エフェクトの表示を始めるシーンの正確な位置を見つけます。
3. **+** ボタンをクリックして、次のいずれかを実行します。
 - ・ **フレーム & オブジェクト** :  をクリックし、表示されるアイテムからフレームやオブジェクトを選択して、これをダブルクリックするか、ドラッグ&ドロップします。
 - ・ **画像** :  をクリックし、[ソースの選択]ドロップダウンメニューで[参照]を選択して、使用する写真が保存されているフォルダを選択します。表示されるアイテムから画像を選択

して、これをダブルクリックするかドラッグ&ドロップします。

- **タイトルテンプレート** :  をクリックし、表示されるアイテムからタイトルのテンプレートを選択して、これをダブルクリックするかドラッグ&ドロップします。テキストボックスをダブルクリックして、文字を入力します。
 - **音声** :  をクリックし、 ボタンをクリックして、音楽ファイルが保存されているフォルダを選択します。表示されるアイテムから音楽ファイルを選択して、これをダブルクリックするかドラッグ&ドロップします。 音楽が追加されたというアイコンが表示されます。
4. 追加したエフェクトをクリックし、好みの位置までドラッグします。
 5. エフェクトの角や端をクリック&ドラッグし、好みのサイズに変更します。また、上部のポイントをクリックしてマウスで回転させ、角度を変えることもできます。

注 : エフェクトの長さは [Movie Remix の設定] タブで指定するデフォルトの設定によって変わります。エフェクト長さやその他の設定については、30 ページの「シーンのトリミングとエフェクトの編集」を参照してください。

音声の録音

好きな音声を録音して、Movie Remix に使用することもできます。Movie Remix のこの機能を使って、吹き替えができます。

音声を録音するには、次の操作を行います。

1. 吹き替えをするシーン / エフェクトのパネルをダブルクリックします。



2.  ボタンをクリックして、 をクリックします。
3. マイクなどの録音機器がコンピュータに接続されていることを確認してください。
4. 再生コントロールを使用して、吹き替えをするシーンの正確な位置を見つけます。
5. 音楽ウィンドウの[音声を録音]セクションで、 ボタンをクリックします。



注 : マイクスライダーを使用して録音デバイスの入力音量を調節します。

6.  ボタンをクリックして録音を停止し、音声をシーンに追加します。 音声が追加されたというアイコンが表示されます。

注 : エフェクトの長さは、[Movie Remix の設定] タブで指定するデフォルトの設定によって変わります。エフェクト長さやその他の設定については、37 ページの「音声プロパティの編集」を参照してください。

シーンのトリミングとエフェクトの編集

シーンとエフェクトの追加が完了したら、編集設定で仕上げをして作品を完成させます。

シーンのトリミング

シーンをトリミングして、始点と終点を正しい位置に設定し、識別しやすいように名前をつけます。

既存のシーンを編集するには、次の操作を行います。

1. トリミングするシーン / エフェクトのパネルをクリックします。
2.  ボタンをクリックします。[プロパティを編集]パネルが表示されます。



3. シーンを次のように編集します。
 - ・ **シーン名** : 必要に応じてシーンに名前をつけます。

- **開始時間** : 必要に応じて、シーンの開始時間を設定します。
 ボタンや  ボタンを使って、正確な開始時間を設定します。
 - **終了時間** : 必要に応じて、シーンの終了時間を設定します。
 や  ボタンを使って、正確な終了時間を設定します。
4. シーンのプロパティパネルを非表示にするには、 をクリックします。

フレーム、オブジェクト、画像のプロパティの編集

フレーム、オブジェクト、画像を Movie Remix に追加したら、クロマキーや透明度などを適用して、それぞれのプロパティを編集できます。

エフェクトのプロパティを編集するには、次の操作を行います。

1. シーン / エフェクトのパネルで、編集するフレーム、オブジェクト、画像をクリックします。

2.  ボタンをクリックします。プロパティ編集パネルが表示されます。



3. プロパティを次のように編集します。
 - **開始時間**：必要に応じて、エフェクトが表示される開始時間を選択します。 や  ボタンを使って、正確な開始時間を設定します。
 - **終了時間**：必要に応じて、エフェクトが消える終了時間を選択します。 や  ボタンを使って、正確な終了時間を設定します。

- ・ **クロマキーの適用** : クロマキーをエフェクトに適用し、エフェクトの一部を映像に合成する場合に、このオプションを選択します。をクリックし、合成する画像の色をクリックします。映像に合成する画像の量をスライダーで調節します。



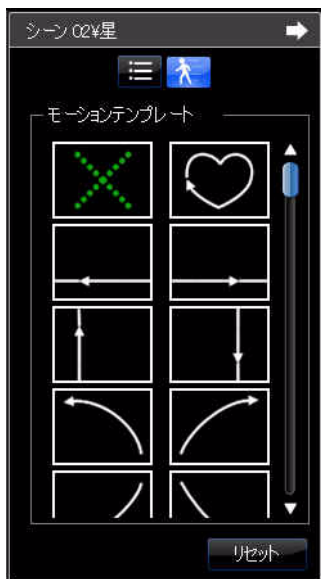
- ・ **シャドウの適用** : フレーム、オブジェクト、画像に影をつける場合に、このオプションを選択します。
 - ・ **枠線の適用** : フレーム、オブジェクト、画像に枠線をつける場合に、このオプションを選択します。
 - ・ **透明度** : スライダーを使って、フレーム、オブジェクト、画像の透明度を調節します。
4. プロパティパネルを非表示にするには、をクリックします。

エフェクトにモーションを追加

Movie Remix のエフェクトにモーションを追加して、画面を移動させることもできます。定義済みのモーションが適用されているオブジェクトについては、用途に合った別のモーションを選択することができます。

モーションを追加 / 編集するには、次の操作を行います。

1. シーン / エフェクトのパネルで、モーションを追加するフレーム、オブジェクト、画像をクリックします。
2.  ボタンをクリックして、 ボタンをクリックします。モーションプロパティーパネルが表示されます。



3. 使用するモーションパスのテンプレートをリストから選択します。
4. プロパティーパネルを非表示にするには、 をクリックします。

文字プロパティーの編集

色、フォントのプロパティー、表示時間など、Movie Remix の文字のプロパティーを編集できます。

文字のプロパティーを編集するには、次の操作を行います。

1. シーン / エフェクトのパネルで、編集する文字アイテムをクリックします。

2.  ボタンをクリックします。プロパティ編集パネルが表示されます。



3. プロパティを次のように編集します。
- **フォント** : フォント、サイズ、その他のプロパティを必要に応じて設定します。
 - **カラー** : 文字の開始色と終了色を選択して、フォントのグラデーションを設定します。単色表示にする場合は、開始色と終了色に同じ色を選択します。また、枠線にも色を指定できます。色をクリックしてダイアログで枠線の色を選択します。
 - **開始時間** : 必要に応じて、Movie Remix に文字が表示される開始時間を選択します。 や  ボタンを使って、正確な開始時間を設定します。
 - **終了時間** : 必要に応じて、Movie Remix から文字が消える終了時間を選択します。 や  ボタンを使って、正確な終了時間を設定します。

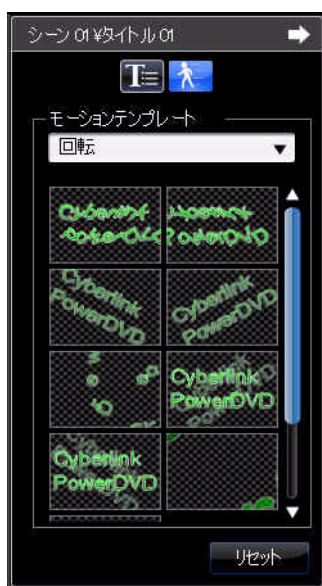
4. プロパティーパネルを非表示にするには、 をクリックします。

タイトルにエフェクトを追加

文字の回転やワイプなど、さまざまなタイトル エフェクトを Movie Remix の文字に適用できます。

タイトルにエフェクトを追加するには、次の操作を行います。

1. シーン / エフェクトのパネルで、エフェクトに追加する文字をクリックします。
2.  ボタンをクリックして、 ボタンをクリックします。モーションプロパティーパネルが表示されます。



3. 文字のエフェクトをリストから選択します。

注： 一覧のアイテムにマウスカーソルを合わせると、エフェクトをプレビューできます。

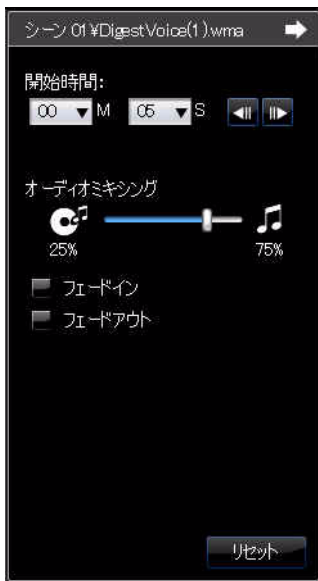
4. プロパティーパネルを非表示にするには、 をクリックします。

音声プロパティーの編集

音声のプロパティーを編集して、ミキシング レベルやフェードイン、フェードアウトを設定できます。

音声のプロパティーを編集するには、次の操作を行います。

1. シーン / エフェクトのパネルで、編集するオーディオアイテムをクリックします。
2.  ボタンか  ボタンをクリックします。プロパティー編集パネルが表示されます。



3. プロパティーを次のように編集します。
 - **開始時間**：必要に応じて、Movie Remix で音声が始まる開始時間を選択します。 や  ボタンを使って、正確な開始時間を設定します。
 - **オーディオミキシング**：スライダーを使用して、追加した音声と映像の元の音声とのミキシングレベルを調節します。
 - **フェードイン**：音声をフェードインする場合に、このオプションを選択します。
 - **フェードアウト**：音声をフェードアウトする場合に、このオプションを選択します。
4. プロパティーパネルを非表示にするには、 をクリックします。

Remix の仕上げ

作成した Movie Remix は、MoovieLive ウェブサイトに公開することができます。エクスポートして別のコンピュータにインポートすることもできます。

Movie Remix の保存

Movie Remix を保存する場合、最初に以下の情報を入力します。

- **タイトル** : Movie Remix のタイトルを入力します。Movie Remix を保存する際は、この欄に必ず入力します。
- **タグ** : Movie Remix のタグを入力します。複数のタグを入力するには、カンマ、セミコロン、スペースで区切ります。Movie Remix に関するキーワードを、MoovieLive で他の人たちが検索しやすいように入力します。
- **音声言語** : Movie Remix で使う音声言語を選択します。
- **字幕 (主)** : Movie Remix で使う字幕言語を選択します。
- **画面アングル** : Movie Remix で使う画面アングルを選択します。
- **説明** : Movie Remix の説明や、素材のムービーとの違いなどを入力します。

注 : Movie Remix のこれらの情報は、[メニュー]の[プロパティを編集]から、いつでも編集できます。

Movie Remix のアップロード

Movie Remix を作成したら、MoovieLive ウェブサイトにアップロードして、友達やムービーファンの人達と共有することができます。

注： MoovieLive にサインインしてから、Movie Remix をアップロードしてください。

作成した Movie Remix を MoovieLive にアップロードするには、次の操作を行います。

1. [**メニュー**] の [**保存とアップロード**] を選択します。
2. 必要に応じて、Movie Remix のプロパティを編集します。
3. MoovieLive にログインするには、MoovieLive のウェブサイトに電子メールとパスワードを入力して、[**OK**] をクリックします。
4. MoovieLive にアップロードするか表示されたら、[**はい**] をクリックします。

Movie Remix のエクスポート

Movie Remix は、RMX ファイルとしてエクスポートし、CyberLink PowerDVD 8 または 9 がインストールされている別のコンピュータにインポートできます。

注： Movie Remix ファイルは、CyberLink PowerDVD 8 または 9 の Movie Remix ルームにインポートすることも、同様の方法で通常のファイルとしてインポートすることもできます。詳細については、45 ページの「ファイルの再生」を参照してください。

Movie Remix をエクスポートするには、次の操作を行います。

1. [**メニュー**] から [**エクスポート**] を選択します。
2. 必要に応じて、Movie Remix のプロパティを編集します。
3. [**参照**] ボタンを使って、エクスポートする Movie Remix ファイルを保存する場所を選択します。
4. [**OK**] をクリックします。

第3章：

PowerDVD の使い方

この章では CyberLink PowerDVD の機能と操作について説明します。再生可能なメディアについて、また使用可能なコントロールやキーボードショートカットの詳細についても説明します。ディスクのメニューへのアクセス方法や、便利な機能も紹介します。

- ・「メディアの再生」42 ページ
- ・「再生コントロール」48 ページ
- ・「メニューへのアクセス」69 ページ
- ・「再生中の便利な機能」73 ページ

メディアの再生

CyberLink PowerDVD は、ハイデフィニション コンテンツ、DVD、動画ファイル、オーディオ CD など、あらゆるデジタル メディアの再生が可能です。

対応するメディアの種類と形式

CyberLink PowerDVD が対応する光学ディスクとファイル形式は、以下の通りです。

ディスクの種類	ファイル形式
Blu-ray ディスク *	BD-RE、BDMV
DVD	DVD-Video、AVCHD*、AVCREC*、DVD-VR、DVD+VR
CD	VCD、SVCD、オーディオ

注： * CyberLink PowerDVD のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

CyberLink PowerDVD が対応するファイル形式は、以下の通りです。

音声形式：MP3、M3U、MP2、M4A、WAV、WMA、AOB、AC3、CDA、MID、RMI

動画形式：MPG、MPEG、AVI、DAT、WMV、ASF、VOB、DVR-MS、MOD、TOD、M2TS、MP4、DV、EVO、DIV、DivX、MPV、M1V、TRP、M2V、AVC、MOV、RMX、TIVO、VRO、WTV

注： 詳細リストを参照するには、[プレイリストの編集]ウィンドウの[**ファイルの種類**]タブをクリックしてください(詳細については、46ページの「プレイリストの作成」を参照してください)。

ビデオディスクの再生

ビデオディスク (Blu-ray ディスク、DVD、VCD、SVCD) をディスクドライブにセットすると、CyberLink PowerDVD は自動的に再生が始まります。CyberLink PowerDVD 起動時に、すでにディスクがドライブに入っている場合、 をクリックしてドライブを選択し、[再生] をクリックします。

オートレジューム (続きから再生)

再生中に [停止] または [閉じる] をクリックすると、別のファイルやディスクをその後すぐに再生した場合でも、次回そのディスクを再生する際には、前回最後に見たシーンから再生されます。

オートレジューム機能により、前回停止したシーンが記録されます。オートレジューム機能には、以下のオプションがあります。

- [続きから再生] をクリックすると、前回停止したシーンから続きを見ることができます。
- [最初から再生] をクリックすると、ディスクの最初から再生が始まります。
- リモコン、ノートブックのタッチパッド、キーボードを使うか、マウスでサムネイルをクリック&ドラッグして、FancyView のチャプターサムネイルをスクロールします。特定のチャプターを選択して、そのチャプターから再生を開始します。

注： レジューム (続きから再生) 機能は動画ファイルには対応しません。IFO ファイルがある場合、ハードディスク中の DVD ファイルのみに対応します。

ディスクを挿入する度にこの機能を表示しないようにするには、[プレイヤー] 設定タブの [オートレジューム設定] で設定します。詳細については、80 ページの「プレイヤーの設定」を参照してください。

Movie Remix の再生

Movie Remix とは、ムービーのパロディまたは別バージョンを指します。Movie Remix は、CyberLink PowerDVD の Movie Remix ルーム * で作成したり、MoovieLive ウェブサイトからダウンロードしたりできます。

注： Movie Remix を再生するには、素材のムービーディスクをディスクドライブにセットしておく必要があります。* CyberLink PowerDVD のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

CyberLink PowerDVD でムービーを視聴したら、MoovieLive からそのムービーの Movie Remix を検索することもできます。Movie Remix をダウンロードして視聴すると、ムービーの楽しみがさらに広がります。

ダウンロードまたは作成した Movie Remix を再生するには、以下を実行します。

1. 素材のムービーディスクがドライブに挿入されていることを確認します。
2.  ボタンをクリックして [ムービー情報] ウィンドウを開き、[Movie Remix] タブをクリックします。
3. 視聴する Movie Remix を選択して、[再生] をクリックします。

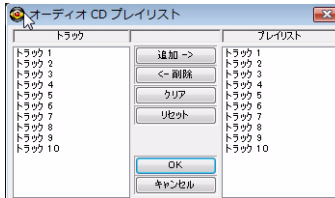
注： CyberLink PowerDVD に Movie Remix をインポートすることもできます。インポートしたファイルの再生に関する詳細は、45 ページの「ファイルの再生」を参照してください。

オーディオ CD の再生

ディスクドライブにオーディオ CD を挿入すると、再生が自動的に始まります。CyberLink PowerDVD の起動時に、すでにディスクがディスクドライブに入っている場合は、 をクリックして、ドライブを選択し、[再生] ボタンをクリックします。

オーディオ CD のプレイリストを編集するには、次の操作を行います。

1. 再生中に、 をクリックします。



2. デフォルトでは、オーディオ CD のトラックのすべてがプレイリストに表示されます。[削除] をクリックして、プレイリストから不要なトラックを削除します。
3. 終了したら [OK] をクリックします。

ファイルの再生

CyberLink PowerDVD は、ディスクタイトル以外に、動画や音声ファイルも再生できます。動画や音声のファイルは、次のいずれかの方法で再生します。

- CyberLink PowerDVD のユーザーインターフェイスに、ファイルを直接ドラッグ & ドロップします。
-  をクリックし、[ハードディスクドライブのムービーファイルを開く] を選択し、メディアが保存されているフォルダを検索します。[OK] をクリックして、再生を開始します。
- メディアファイルを右クリックして、[プログラムから開く] を選択します。プログラムの一覧から PowerDVD を選択します。

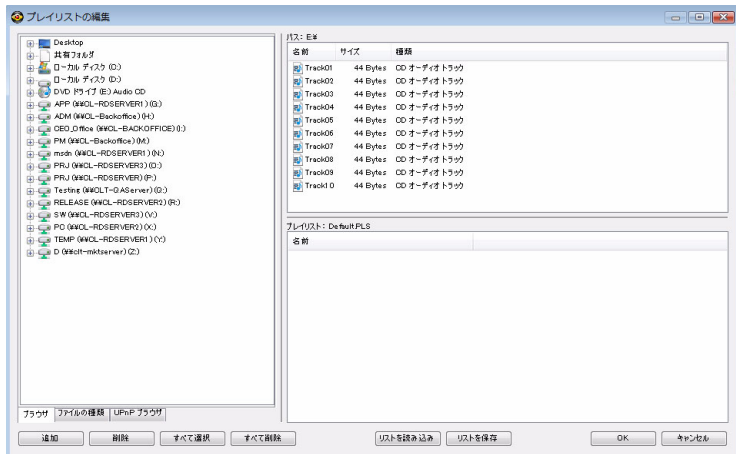
注 : CyberLink PowerDVD がディスクモード ([メディアを選択] ボタンメニューの最初のオプション) になっているときにデータ CD を挿入すると、ディスク中のメディアファイルがすべて再生されます。

プレイリストの作成

CyberLink PowerDVD を使用すると、選択したメディアファイルを含むプレイリストを作成し、連続再生することができます。この機能はオーディオファイルの再生に便利ですが、プレイリストには動画ファイルも含めることができます。

プレイリストを作成するには、次の操作を行います。

1.  をクリックし、[メディアファイルを開く]を選択します。
[プレイリストの編集]ウィンドウが開きます。



2. ハードドライブ (左の画面) を検索してファイルを選択し、映像や音声ファイルが保存されているフォルダをクリックします。メディアファイルは、上部右の画面に表示されます。
- ・ [ブラウザ] タブを選択して、ローカルのドライブやフォルダにあるメディアコンテンツを検索します。
 - ・ [ファイルの種類] を選択して、希望するファイルの種類を選択します。

- **[UPnP ブラウザ]** タブからは、UPnP デジタル ホーム ネットワークに保存されているメディアにアクセスできます。UPnP ネットワークに保存されているメディアコンテンツの再生には、このタブを使用します。
3. 上部右の画面でファイルを選択して**[追加]**をクリックし、プレイリストに追加します。
 - フォルダ内のメディアファイル(サブフォルダは除く)すべてを追加するには、フォルダを左の画面からプレイリストにドラッグ & ドロップします。
 - PLS か M3U 形式のプレイリストがある場合、**[リストを読み込み]**をクリックします。この機能を使用すると、以前読み込んだファイルがすべて置き換えられます。プレイリストの読み込み後は、元のプレイリストを変更せずに、別のファイルをリストに追加することもできます。
 - 新しく作成した再生リストを保存する場合は、作成後に**[リストを保存]**をクリックします。保存場所を選択して**[保存]**をクリックします。
 4. プレイリストに入れるメディアファイルをすべて選択したら、**[OK]**をクリックします。CyberLink PowerDVD は、プレイリスト中のファイルを再生します。

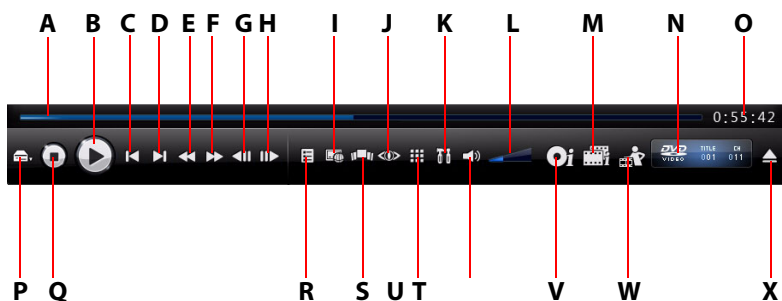
再生コントロール

CyberLink PowerDVD の再生コントロールを使用すると、ディスクやその他のメディア、またプログラムの主要機能のすべてに簡単にアクセスできます。

メインコントロール

CyberLink PowerDVD のメインの再生コントロールからは、主要機能の一部にアクセスできます。

注： 使用可能な再生コントロールは、再生中のメディアによって異なります。



	ボタン / アイコン	ホットキー	説明
A	ナビゲーションスライダー		経過時間を表示します。スライダーをクリックすると、他のシーンにジャンプします。
B	再生 / 一時停止	Enter/Space バー	メディアを再生 / 一時停止します。
C	前のチャプター	P	前のチャプターに戻ります。
D	次のチャプター	N	次のチャプターに進みます。
E	巻戻し	B	ディスクコンテンツを倍速で巻き戻しします。
F	早送り	F	ディスクコンテンツを倍速で早送りします。
G	コマ戻し	E	前のフレームに移動します。
H	コマ送り	T	次のフレームに移動します。
I	字幕、音声言語、 アングル	U (字幕)、H (音声言語)、 A (アングル)	字幕、音声言語、アングルの切り替えをします。

	ボタン / アイコン	ホットキー	説明
J	TrueTheater エフェクト *		TrueTheater エフェクトのコントロールにアクセスします。詳細は、53 ページの「TrueTheater エフェクトウィンドウ」を参照してください。
K	設定	Ctrl+C	PowerDVD の設定にアクセスします。
L	音量調整	+,-	音量を調節します。
M	ムービーコレクション	F3	ムービーコレクションにアクセスします。詳細は、22 ページの「ムービーコレクション」を参照してください。
N	情報表示		再生中のメディアの再生情報を表示します。
O	経過時間 / 残り時間		経過時間と残り時間を切り替えます。
P	メディアを選択	Ctrl+O	再生するメディアを選択します。
Q	停止	S	メディアを停止します。
R	メニュー	L	使用可能なディスクメニューにアクセスします。

	ボタン / アイコン	ホットキー	説明
S	チャプタービュー ワー		ディスクのチャプター ビューワーにアクセスし ます。詳細は、52 ページ の「チャプタービュー ワー」を参照してくださ い。
T	拡張機能		ナンバーパッドや追加ボ タンなど、拡張機能にア クセスします。詳細は、 54 ページの「拡張機能」 を参照してください。
U	ミュート	Q	音量をミュートにします。
V	ムービー情報ペー ジ	F2	現在のムービーの詳細情 報やレビューにアクセス します。詳細は、18 ペー ジの「ムービー情報ペー ジ」を参照してください。
W	Movie Remix ルー ム	F4	Movie Remix ルームにア クセスします。詳細は、 25 ページの「Movie Remix ルーム」を参照し てください。
X	取り出し	Ctrl+E	選択したディスクドライ ブから、ディスクを取り 出します。

その他の再生ボタン

以下のボタンが、メディアの再生中に使用可能です。

ボタン / アイコン	ホットキー	説明
ポップアップメニュー	Ctrl+P	ポップアップメニューの表示 / 非表示は、Blu-ray ディスクでのみ利用可能です。
リピート	Ctrl+R	タイトル、チャプター、曲などをリピート再生します。このボタンは、プレイリストからメディアを再生する場合に、再生コントロールに表示されます。
シャッフル	V	プレイリストのアイテムをランダムに再生します。このボタンも、プレイリストからメディアを再生する場合に、再生コントロールに表示されます。

チャプタービューワー

チャプタービューワーでは、チャプターのサムネイルを表示します (2つのモードから選択)。

注： チャプタービューワーは、コンテンツ保護の理由により、Blu-ray ディスクは再生できません。

-  : FancyView で、チャプターサムネイルを表示します。リモコン、キーボード、ノートブックのタッチパッドを使って、サムネイルをスクロールします。マウスを使って、チャプターサムネイルをクリック&ドラッグすることもできます。

特定のチャプターを選択して、そのチャプターから再生を開始します。

-  : グリッド・ビューで、チャプターサムネイルを表示します。リモコンかマウスを使って、チャプターサムネイルをブラウズします。特定のチャプターを選択して、そのチャプターから再生を開始します。

注： チャプタービューワーを使用すると、CyberLink PowerDVD はコンピュータに全チャプターのサムネイルを保存します。サムネイルを管理し、ディスクの空き容量を確保に関する詳細は、105 ページの「DVD の設定」のチャプタービューワーのサムネイルのセクションを参照してください。

TrueTheater エフェクトウィンドウ

 ボタンをクリックして、TrueTheater エフェクト * ウィンドウを表示します。



注： TrueTheater エフェクトは、Blu-ray ディスクタイトルの再生時は使用できません。TrueTheater エフェクトは、ハードウェアアクセラレーションが有効になっている間は、使用できません。

TrueTheater エフェクトは、DVD を最高画質で見るための CyberLink 独自の映像技術です。これらのエフェクトに関する詳細は、86 ページの「動画の設定」の TrueTheater エフェクトのセクションを参照してください。

注： * CyberLink PowerDVD のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

拡張機能

[拡張機能] ウィンドウでは、See-It-All、スナップショット、アングルの切り替えなどの詳細機能にアクセスできます。

[拡張機能] ウィンドウを表示するには、 をクリックします。



	ボタン / アイコン	ホットキー	説明
A	ナビゲーションボタン	上 / 下 / 左 / 右 矢印	ディスクメニューを操作します。
B	OK	Enter	選択したオプションを確定します。
C		F9 (赤)、 F10 (緑)、 F11 (黄)、 F12 (青)	リモコンの同色のボタンに対応します。
D	シャッフル	V	プレイリストのアイテムをランダムに再生します。
E	フレームのキャプチャ (スナップショット)	C	画像 ファイルとして動画コンテンツをキャプチャします (Blu-ray ディスクの再生中は、使用できません)。詳細は、73 ページの「お気に入りのシーンのフレームをキャプチャする (スナップショット)」を参照してください。
F	See-It-All	Ctrl+S	See-It-All 機能を有効化します。詳細は、58 ページの「See-It-All」を参照してください。

ボタン / アイコン	ホットキー	説明
G アングル切り替え	A	アングルを切り替えます (切り替え可能な場合)。詳細は、58 ページの「アングル切り替え」を参照してください。
H 2 点間リピート	X	選択したシーンをリピートします。詳細は、58 ページの「2 点間リピート」を参照してください。
I 視覚効果		音声ファイルの再生中に、視覚効果 (コンピュータグラフィックス) が表示されます。
J ブックマーク ビューワー		ブックマークビューワーにアクセスします。詳細は、71 ページの「チャプタービューワー」を参照してください。
K 次のブックマーク	G	ブックマークを付けたシーンに直接移動します。詳細は、58 ページの「お気に入りのシーンをブックマーク」を参照してください。

ボタン / アイコン	ホットキー	説明
L ブックマークの追加	M	特定の DVD シーンにブックマークを追加します。詳細は、58 ページの「お気に入りのシーンをブックマーク」を参照してください。
M 1 - +10	0-9、+10 *	ナンバーパッドです。
N カラオケ	K	カラオケモードを切り替えます。詳細は、76 ページの「カラオケ DVD/VCD の再生」を参照してください。
O Say-It-Again	W	直前の会話を繰り返します。詳細は、57 ページの「Say-It-Again」を参照してください。
P リピート	Ctrl+R	タイトル、チャプター、曲などを繰り返します。

メニュー / ナンバーパッド

メニュー / ナンバーパッドには、ナビゲーション ボタン、数字入力用キーパッド、その他の機能のボタンがついています。ステレオのリモコン同様、プレイリストやオーディオ CD の再生時に、ナンバーパッドを使用して再生するトラックの番号を直接入力します。

Say-It-Again

Say-It-Again 機能を使うと、再生中の会話を繰り返すことができます。Say-It-Again 機能を使うには、次の操作を行います。

1. 繰り返し再生したい会話シーンで [Say-It-Again] をクリックします。
2. オフにするには、もう一度 [Say-It-Again] をクリックします。

See-It-All

See-It-All 機能を使うと、ノートパソコンのバッテリー残量とムービーの残り時間を計算し、ムービー全体が再生できるように再生スピードを調節します。

アングル切り替え

この機能は、音楽コンサートのディスクの一部で利用できます。再生中にクリックして、アングル間を切り替えます。

2 点間リピート

リピート機能 (カスタマイズ可能) を使うと、ムービーの好きな部分を繰り返し (2 点間リピート) 再生できます。リピート再生の始点と終点が設定でき、会話部分のみがリピートされる Say It Again 機能とは、この点が異なります。

1. 再生中に、リピートしたいシーンの先頭で [2 点間リピート] ボタンを押して始点を設定します。
2. 再度 [2 点間リピート] をクリックして終点を設定します。設定したシーンが繰り返し連続再生されます。
3. 2 点間リピートを止めるには、[2 点間リピート] ボタンをクリックするか、リピートシーンから移動します (ナビゲーションスライダーで次または前のチャプターへ移動)。

注： この機能は、Blu-ray ディスクの Java (BD-J) には対応していません。

お気に入りのシーンをブックマーク

ディスクの再生中に、お気に入りのシーンにブックマークをつけると、そのシーンを簡単に検索できます。

注： この機能は、Blu-ray ディスクの Java には対応していません。

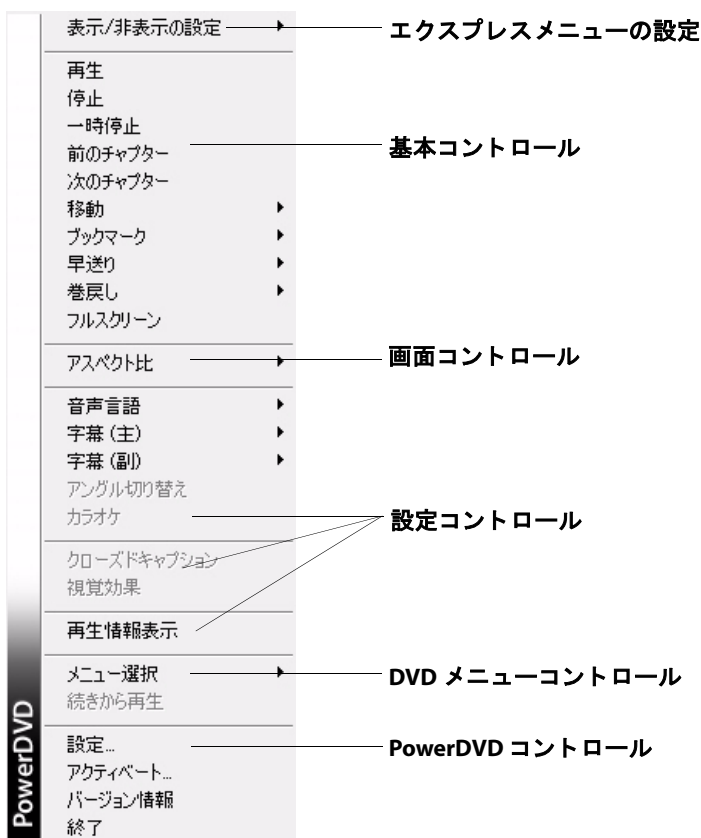
シーンにブックマークをつけるには、次の操作を行います。

- 再生中に、[拡張機能] ウィンドウを開き、お気に入りのシーンで  をクリックします。
-  をクリックすると、ブックマークした次のシーンに移動します。ブックマークの番号順に再生されます。この機能は、再生中のコンテンツにブックマークが付けられている場合のみ有効です。

注： ブックマークのインポートとエクスポートに関する詳細は、86 ページの「動画の設定」を参照してください。

エクスプレスメニュー

コンテンツの再生中に、エクスプレスメニューから、CyberLink PowerDVD のコントロールやオプションにアクセスできます。エクスプレスメニューにアクセスするには、動画コンテンツウィンドウを右クリックします。



エクスプレスメニューはいくつかのセクションに分割されています。

エクスプレスメニューの設定

[表示/非表示の設定]から、エクスプレスメニューに表示したいコントロールを選択します。特定のコントロールを非表示するには、リストからチェックを外します。

基本コントロール

再生コントロール

CyberLink PowerDVD の再生コントロール(再生、停止、一時停止などの基本コントロール)が表示されます。

移動

[移動]オプションから、再生可能なタイトルのチャプターを選択します。チェックマークが付いているものは、現在再生中のタイトルで、タイトルの右矢印にマウスカーソルを移動するとチャプターが表示されます。チャプターへのアクセスには、[ブラウザ]または[チャプタービューワー]ウィンドウを使用することもできます。

ブックマーク

[ブックマーク]オプションを使うと、ブックマークを追加したり、ブックマークを追加したシーンに移動したりできます。ブックマークを追加したシーンへのアクセスには、[ブラウザ]または[チャプタービューワー]ウィンドウを使用することもできます。

フルスクリーン

[フルスクリーン]を選択すると、フルスクリーンモードに切り換わります。

画面コントロール

アスペクト比

[アスペクト比を保持]オプションは、動画コンテンツとウィンドウのアスペクト比を保ち、必要に応じてレターボックスを追加します。

画面に合わせてストレッチ

[画面に合わせてストレッチ]では、ムービーをストレッチして動画ウィンドウのサイズに合わせます。

TrueTheater Stretch*

TrueTheater Stretch 機能は、フルスクリーンモードでのみ使用できます。ワイドスクリーンのアスペクト比の DVD に適しています (例 : 4:3 モニタで 16:9 が最適)。この機能では CyberLink 独自の Pano Vision 映像技術を使用してムービーをストレッチし、モニターのサイズに合わせます。

注 : * CyberLink PowerDVD のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

次のいずれかを選択します。

- **スマートストレッチ** : 画像の中央はそのまま、端をわずかにクロップ & ストレッチします。
- **フィットスクリーン** : 画像の中央はそのまま、端をわずかにストレッチします。
- **スマート 2.35:1** : 2.35:1 アスペクト比のディスクを再生する場合、ワイドスクリーン (16:9 か 16:10) のディスプレイスペースに最大に表示します。
- **カスタムストレッチ** : [アスペクト比] タブで設定したカスタムアスペクト比を適用します。カスタムのアスペクト比作成に関する詳細は、102 ページの「アスペクト比の設定」を参照してください。

Pan & Scan

[Pan & Scan] では、ディスクコンテンツの中央部分を表示し、表示エリアをドラッグすることで動画の全範囲を表示します。この機能は、フルスクリーンモード、および 2.35:1 か 1.85:1 のディスクタイトルでのみ利用できます (4:3 モニタでのワイドスクリーンコンテンツが最適)。この機能を使用する場合は、ディスクタイトルのアスペクト比を確認してください。

Pan & Scan 機能では、黒帯 (レターボックス) なしにコンテンツが表示されますが、映像の一部が表示されなくなります。Pan & Scan の

デフォルト位置は中央に設定されていますが、画面を左右にドラッグして移動させることができます。

デジタルズーム

デジタルズームを使って、お好みのシーンを拡大表示します。

注： デジタルズームはフルスクリーンモードでのみ使用できます。

1. エクスプレスメニューを右クリックし、[アスペクト比]>[デジタルズーム]>(4X)または(9X)を選択します。
2. 画面をクリック&ドラッグして、拡大画面を移動します。画面の左上隅に、拡大表示されているエリア(緑の枠線)が、標準のスクリーンモード(白の枠線)の中に表示されます。
3. フルスクリーンモードに戻るには、エクスプレスメニュー(右クリック)に戻り、[アスペクト比]>[アスペクト比を保持]を選択するか、他のアスペクト比を選択します。

設定コントロール

音声言語

[音声言語]メニューから、再生する言語を選択します。再生可能な言語は、ディスクタイトルによって異なります。

字幕メニュー

[字幕(主)]で、デフォルトの字幕を選択します。通常、字幕(主)は画面の下部に表示されます。

[字幕(副)]では、デフォルトの字幕と同時に、副字幕が必要な場合に選択します。

Read-It-Clearly

Read-It-Clearly 機能を使うと、視聴の妨げとならないように字幕の位置を調整することができます。

[Read-It-Clearly]メニューには、以下の選択肢があります。

- ・ [標準]では、字幕がデフォルトの位置に表示されます。

- **[2.35:1]** では、字幕の位置を 2.35:1 または 2.40:1 のアスペクト比のムービーに合わせて調整します。
- **[1.85:1]** では、字幕の位置を 1.70:1 または 1.85:1 のアスペクト比のムービーに合わせて調整します。
- **[字幕(主)]** については、**[下]** を選択すると字幕を画面の最下部に移動できます。
- **[字幕(副)]** については、**[上]** を選択すると字幕を画面の最上部に移動できます。

Blu-ray ディスクコントロール

Blu-ray ディスクタイトル * を再生する場合、エクスプレスメニューでは以下の追加機能が使えます。

注： * CyberLink PowerDVD のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

- **[PiP ビデオ]** を選択して、ピクチャ・イン・ピクチャ (PiP) ウィンドウを有効化します (一部の Blu-ray ディスクタイトルで使用可能)。**[PiP 音声言語]** リストから、PiP ビデオの言語を選択します。
- PiP ビデオを表示する場合、字幕 (主) に PiP ビデオ用の追加字幕が表示される場合もあります (言語の横に、<PiP から> と表示)。PiP の字幕を選択すると、字幕はメインの映像に表示されます。

注： PiP のビデオが終了または閉じられた場合、最初に選択された字幕 (主) に戻ります。

アングル切り替え

一部のディスクタイトルで使用できます。このオプションを選択すると、カメラのアングルを切り替えることができます。

カラオケ

[カラオケ]オプションは、カラオケディスクの再生時に使用できません。詳細については、76 ページの「カラオケ DVD/VCD の再生」を参照してください。

クローズドキャプション

クローズドキャプションは、聴覚障害者向けの機能です(一部のディスクタイトルに対応)。クローズドキャプションは、動画コンテンツ上に文字で表示されます。オープンキャプションとは異なり、映像信号では表示されず、特殊なデコーダが必要です。

視覚効果

[視覚効果]機能を有効にすると、音楽ファイルの再生中に視覚効果(コンピュータグラフィックス)が表示されます。

再生情報表示

[再生情報表示]を有効にすると、OSD(オンスクリーンディスプレイ)上に、可変ビデオビットレートや、Dolby Digital 5.1、Dolby Digital 2.0、DTS 5.1 といった音声形式、オーディオビットレートが表示されます。また、経過時間、残り時間、チャプター、タイトルの情報も表示されます。

DVD メニューコントロール

メニューの選択

[メニュー選択]オプションを使うと、表示可能なメニューに素早くジャンプします。詳細については、69 ページの「メニューへのアクセス」を参照してください。

続きから再生

[続きから再生]を選択すると、直前のシーンに戻ります。ディスクメニューを表示するために再生を停止した場合も、元のシーンに戻ることができます。

PowerDVD コントロール

設定

[設定]メニューを選択すると、[設定]ウィンドウが表示されます。
詳細については、77 ページの「設定」を参照してください。

アクティベート

このオプションを選択すると、お使いの CyberLink PowerDVD のアクティベート（登録）やアップグレードが行えます。

バージョン情報

お使いの CyberLink PowerDVD のバージョン情報を表示します。

終了

CyberLink PowerDVD のプログラムを終了します。

ミニプレイヤーモード

ミニプレイヤーモードを使うと、CyberLink PowerDVD がタスクバー上に最小化されている場合でも、基本的な再生機能にアクセスできます。ミニプレイヤーは、音楽を再生しながら、[動画を表示]ボタンをクリックしてタスクバーの上の小さな画面で動画を見る場合に便利です。

ミニプレイヤーモードを有効化して CyberLink PowerDVD を最小化すると、再生コントロールが Windows のタスクバーに最小化されます。



ミニプレイヤーモードを有効化

ミニプレイヤーモードを有効化するには、Windows のタスクバーの空いている部分を右クリックして[ツールバー]を選択し、[PowerDVD]をクリックします。ミニプレイヤーモードにするには[最小化]ボタンをクリックし、ミニプレイヤーモードを終了するには[ミニモードを終了]ボタンをクリックします。

その他のホットキーと機能

CyberLink PowerDVD では、以下の便利なホットキーや機能も使用できます。

ホットキー	説明
Ctrl+D	副音声の有効化 / 無効化します。
Ctrl+G	PG textST を有効化 / 無効化します。有効化すると、BD-ROM プレイヤーは、文字の字幕ストリームかプレゼンテーショングラフィックスの字幕ストリームを表示します (表示可能な場合)。
Ctrl+N	CyberLink PowerDVD を最小化します。
Ctrl+P	ポップアップメニューを表示 / 非表示します (Blu-ray ディスクタイトルのみ)。
Ctrl+U	字幕 (副) を表示 / 非表示します。
Ctrl+V	セカンダリビデオを有効化 / 無効化します。
Ctrl+W	動画の再生を一時停止し、メニューがアクティブである場合、再生を再開します。
Ctrl+X	CyberLink PowerDVD プログラムを終了します。
Ctrl+Y	字幕 (副) の位置を変更します。
Ctrl+Q	Dolby Headphone
F5	CyberLink PowerDVD をフルスクリーン モードに切り替えます。
F6	前のシーンにジャンプします (シーンの検出に CyberLink Rich Video を使用)。

ホットキー	説明
F7	コマーシャルをスキップします (コマーシャルの検出に CyberLink Rich Video を使用)。
F8	次のシーンにジャンプします (シーンの検出に CyberLink Rich Video を使用)。
D	OSD (オンスクリーンディスプレイ) DVD 再生の詳細を切り替えます。
J	DVD のルートメニューに移動します。

特殊キーボード用追加ホットキー

CyberLink PowerDVD では、特殊キーボード (追加のキーが付属しているもの) 用のホットキーも用意しています。

ホットキー	説明
Select	選択したオプションを確定します。
Prior	5 秒前へタイムシークします。
Next	5 秒後へタイムシークします。
Apps	コンテキストメニューを表示します。

メニューへのアクセス

CyberLink PowerDVD でメディアを再生中に、タイトル、ルート、チャプター、音声、ブックマークの各メニューに、簡単にアクセスできます。

CyberLink PowerDVD では、Blu-ray ディスク* のポップアップメニューや DVD-VR ディスクのメニューにもアクセスできます。

注： * CyberLink PowerDVD のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

市販ディスクのメニュー

CyberLink PowerDVD で市販ディスクを再生中に、プログラムの複数の場所から [タイトルメニュー]、[ルートメニュー]、[字幕メニュー]、[音声メニュー]、[アングルメニュー]、[チャプターメニュー] にアクセスできます。

注： ディスクのタイトルによっては、ルートメニュー以外のメニューにアクセスできないものもあります。この場合、ルートメニューから各設定にアクセスする必要があります。

メニューアイテムにアクセスする方法は、以下の通りです。

- ディスクの再生が始まった後 (警告メッセージの後) に、再生コントロールで  をクリックします。表示されるディスクタイトルのメニューは、ディスクの作成方法によって異なります。
- 動画コンテンツウィンドウを右クリックして [エクスプレスメニュー] を表示し、[メニュー選択] を選択します。

注： 再生中にディスクメニューを表示し、その後再度再生する場合は、画面を右クリックして、[続きから再生] を選択すると、直前のシーンに戻ります。

再生メニュー

再生メニューには、チャプターのショートカットがあり、ブラウザとチャプタービューワーにもアクセスできます。

1. 再生メニューにアクセスするには、再生コントロールの[前のチャプター]か[次のチャプター]を右クリックします。
チェックが付いたものは、現在再生中のチャプターです。
2. 再生するチャプターを選択します。

注： [ブラウザ]または[チャプタービューワー]ウィンドウを選択することもできます。

ブラウザ

[ブラウザ]からは、再生可能なタイトル、チャプター、ブックマークが選択できます。

注： [ブラウザ]には、[エクスプレスメニュー]の[移動]オプションや[ブックマーク]オプションからもアクセスできます。

1. 再生メニューから[ブラウザ]を選択すると、[ブラウザ]ウィンドウが開き、タイトルやチャプターを表示します。赤いポイントが付いたものは、現在再生中のチャプターです。



2. チャプターかタイトルを選択し、[移動]をクリックして再生を開始します。

チャプタービューワー

[チャプタービューワー]オプションを選択して、チャプタービューワー中のチャプターサムネイルを表示します。詳細については、52ページの「チャプタービューワー」を参照してください。

注： [チャプタービューワー]には、[エクスプレスメニュー]の[移動]オプションや[ブックマーク]オプションからもアクセスできます。この機能は、コンテンツ保護の理由により、Blu-ray ディスクは再生できません。

Blu-ray ディスクのポップアップメニュー

Blu-ray ディスクタイトルのほとんどで、ポップアップメニューから、シーン選択や他の機能にアクセスできます。

注： * CyberLink PowerDVD のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

[ポップアップメニュー]ボタンをクリックすると、再生中のコンテンツのメニューが表示されます。

注： Blu-ray ディスクのポップアップメニューには、キーボードの Ctrl+P を押してもアクセスできます。

DVD-VR 形式でのメニューの使用

DVD-VR 動画形式のディスクでは、[プログラムセットビューワー]からメニューにアクセスできます。

1. 再生コントロールの  ボタンをクリックします。
2. [プログラムセットビューワー]を選択して、各タイトルやチャプターの最初のフレームを表示します。
3. タイトル / チャプターのサムネイルをクリックして再生を開始するか、[閉じる]をクリックしてビューワーを閉じます。

注： プレイリストがあれば、ここで表示することもできます。

再生中の便利な機能

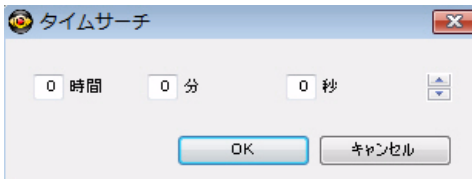
メディアの再生中に使用できる便利な機能は、以下の通りです。

タイムサーチ

[タイムサーチ]機能を使用すると、ムービー、動画、曲の特定の時間位置にジャンプできます。

タイムサーチを使用するには、次の操作を行います。

1. ナビゲーションスライダーを右クリックすると、[タイムサーチ]ダイアログボックスが表示されます。



2. 時間（時間、分、秒）を入力して、[OK]をクリックします。入力した時間から再生が始まります。

お気に入りのシーンのフレームをキャプチャする（スナップショット）

CyberLink PowerDVD では、動画の再生中に、お気に入りのシーンから個々のフレームをキャプチャできます。キャプチャしたフレームは、ファイルとして保存したり、壁紙にしたり、CyberLink PowerDVD のスタートアップ画像として使用したりできます。また、キャプチャした画像をクリップボードに送って、別の用途に使用することもできます。

注： この機能は、Blu-ray ディスクのタイトルには対応していません。

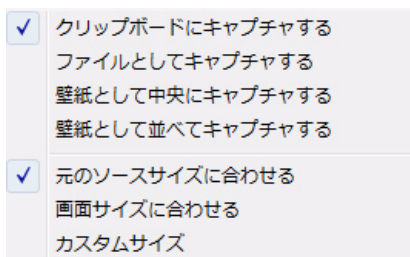
キャプチャオプション (スナップショット) の設定

フレームのキャプチャを行う前に、キャプチャのタイプとサイズを選択します。

注： キャプチャの形式やカスタムサイズなどのキャプチャ オプションは、[PowerDVD 設定] の [プレイヤー] から設定できます。詳細については、82 ページの「キャプチャ」を参照してください。

キャプチャオプションを設定するには、次の操作を行います。

1. コンテンツの再生中に、再生コントロールの  ボタンをクリックし、 ボタンを右クリックします。キャプチャオプションが表示されます。



2. キャプチャ先を次のように設定します。
 - ・ **クリップボードにキャプチャする**：キャプチャした画像をクリップボードに送る場合に、このオプションを選択します。画像は手作業で別の場所やプログラムに貼り付けます。
 - ・ **ファイルとしてキャプチャする**：キャプチャした画像を特定の形式のファイルとしてコンピュータのスナップショットフォルダに保存する場合に、このオプションを選択します。
 - ・ **壁紙として中央にキャプチャする**：キャプチャした画像をコンピュータのデスクトップの壁紙として中央に表示する場合に、このオプションを選択します。
 - ・ **壁紙として並べてキャプチャする**：キャプチャした画像をコンピュータのデスクトップの壁紙として並べて表示する場合に、このオプションを選択します。

3. キャプチャサイズを次のように設定します。
 - ・ **元のソースサイズに合わせる** : 元の動画サイズ (720X480 や 720X576 など) で画像をキャプチャする場合に、このオプションを選択します。
 - ・ **画面サイズに合わせる** : キャプチャ画像を現在の画面サイズに合わせて保存する場合に、このオプションを選択します。
 - ・ **カスタムサイズ** : [設定] ウィンドウの [キャプチャ] タブで設定したカスタムサイズで画像をキャプチャする場合に、このオプションを選択します。

画像のキャプチャ (スナップショット)

1. 再生中に、 ボタンをクリックするか、キーボードでCキーを押して、現在の動画コンテンツのフレームをキャプチャします。
2. より正確にキャプチャするには、シーンを一時停止したり、スローモーションで再生したり、コマ送りをしたりして、キャプチャします。

注 : キャプチャする画像の保存先は、[設定] ウィンドウで設定できます。詳細については、82 ページの「キャプチャ」を参照してください。

外部字幕の読み込み

ディスク以外の動画ファイルを再生する場合、CyberLink PowerDVD は動画ファイルと同じフォルダ内から字幕を検索します。ファイルが見つかったら、エクスプレスメニューの [字幕] オプションに表示されます。

注 : この機能を使用できるのは、DivX 動画ファイルの再生中のみです。

CyberLink PowerDVD は、SMI、ASS、SAA、PSB、SRT、SUB の字幕形式に対応しています。また、ファイル名に言語識別子 (xxxx.cht.sub など) がある場合、別の言語にも対応します。

カラオケ DVD/VCD の再生

CyberLink PowerDVD を使用して、カラオケの DVD や VCD を再生できます。DVD/VCD のケースについているカラオケマークを確認してください。

カラオケオプションを選択する

1. カラオケディスクを挿入したら、マイクが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. **[再生]**をクリックすると、メニュー画面が表示されます。表示されない場合、**[メディアを選択]**をクリックして、正しいドライブを選択します。
3. メニューパッドのナビゲーションボタンを使用するか、マウスでクリックして曲を選択します。
4. 再生中に、**[拡張機能]**の  ボタンをクリックするか、エクスプレスメニュー (画面を右クリック) から **[カラオケ]**を選択します。
5. **左** または **右 (左+右)** のボーカルチャンネルから選択します。
6. カラオケ VCD を再生する場合、エクスプレスメニューで声と音楽のミキシングに適した音声チャンネルを選択します。

キーの調整

カラオケのキーは **[キーの調整]** 機能で調節します。

キーを調節するには、次の操作を行います。

1. **[拡張機能]**にある  ボタンを右クリックします。
2. **[キーの調整]**を選択し、調節します。

第4章：

設定

この章では、CyberLink PowerDVD を設定する方法を説明します。[設定] ウィンドウは、再生コントロールの  ボタンをクリックするか、キーボードの Ctrl + C を押すと表示されます。

この章の構成は、以下の通りです。

- ・「ユーザーインターフェイスの設定」78 ページ
- ・「プレイヤーの設定」80 ページ
- ・「動画の設定」86 ページ
- ・「音声の設定」92 ページ
- ・「アスペクト比の設定」102 ページ
- ・「DVD の設定」105 ページ
- ・「Blu-ray ディスクの設定」107 ページ
- ・「MoovieLive の設定」110 ページ
- ・「Movie Remix の設定」112 ページ
- ・「モバイル電源の設定」114 ページ

注： Dolby、Pro Logic、Surround EX、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DD シンボルは、Dolby Laboratories の登録商標です。DTS、DTS 96/24、DTS-HD は、DTS (デジタル・シアター・システムズ) の登録商標です。

ユーザーインターフェイスの設定

ユーザーインターフェイスのタブで、CyberLink PowerDVD のスタイルの設定を行います。



PowerDVD のスタイル

CyberLink PowerDVD の好みのスタイルを選択します。以下から選択します。

- ・ **モード**：クラシックモード または シネマモード。詳細については、3 ページの「PowerDVD のプログラムとモード」を参照してください。
- ・ **スキン**：各モードで使用するスキンを選択します。

注： スキンはダウンロードもできます（追加バージョンがある場合）。[**ダウンロード**] ボタンをクリックしてスキンをダウンロードします。

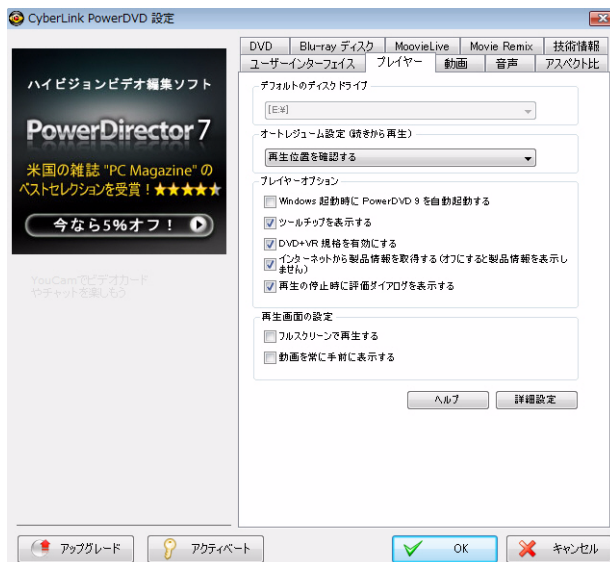
言語

[言語] オプションで、CyberLink PowerDVD のユーザーインターフェイスの言語を選択します。

- [システムのデフォルト言語を使用する] を選択すると、オペレーションシステムと同じ言語に設定されます。
- [ユーザー定義] を選択して、ドロップダウンメニューから使用する言語を選択します。

プレイヤーの設定

[プレイヤー] タブで、CyberLink PowerDVD の動作を設定します。



このタブの設定は次のように行います。

デフォルトのディスクドライブ

コンピュータに複数のディスクドライブがある場合は、[デフォルトのディスクドライブ] オプションで、デフォルトのドライブを選択します。

オートレジューム設定 (続きから再生)

[オートレジューム設定] オプションで、ディスクを挿入後、どこから再生するかを選択します。この機能の詳細については、43 ページの「オートレジューム (続きから再生)」を参照してください。

[オートレジューム設定] のドロップダウンメニューから選択します。ディスク挿入時に、プロンプト表示をしない場合は、[ムービーの始めから再生する] か [前回の続きから再生する] を選択します。

プレイヤーオプション

- **Windows 起動時に、PowerDVD 9 を自動起動する** : Windows にログインすると、自動的に CyberLink PowerDVD を起動する場合に、このオプションを選択します。
- **ツールチップを表示する** : 特定の機能をカーソルでポイントすると、ツールチップを表示する場合に、このオプションを選択します。
- **DVD+VR 規格を有効にする** : DVD+VR ディスクの再生を可能にする場合に、このオプションを選択します。
- **インターネットから製品情報を取得する** : 新しい製品情報があれば、自動的に情報を取得する場合に、このオプションを選択します。
- **再生の停止時に評価ダイアログを表示する** : 再生を停止する時に、評価ダイアログ (インターネット接続されていない場合にのみ表示) を表示しない場合は、このオプションを選択解除します。

再生画面の設定

- **フルスクリーンで再生する** : コンテンツをフルスクリーンで再生する (デフォルト) 場合は、このオプションを選択します。
- **動画を常に手前に表示する** : コンピュータでプログラムやウィンドウを開いていても、動画を常に手前に表示する場合は、このオプションを選択します。

プレイヤーの詳細設定

[プレイヤー] タブで、詳細設定を行うこともできます。詳細設定を行うには、[詳細設定] ボタンをクリックします。次のタブからひとつを選択します。

- OSD (オンスクリーンディスプレイ)

- ・ キャプチャ
- ・ キーボード / マウス
- ・ デフォルト設定
- ・ ファイルの関連付け

OSD (オンスクリーンディスプレイ)

OSD (オンスクリーンディスプレイ) の設定をする場合に、このタブを使います。OSD は、使用中の機能や現在のステータスを、動画コンテンツ上に文字で表示する機能です。

OSD

[有効化する] を選択すると再生中に OSD が表示されます。OSD の表示時間も入力できます。

表示位置

OSD の表示位置を、4 つのオプションから選択します。

フォント

[フォントの設定] をクリックして、OSD のフォントの種類とサイズを設定します。

カラー

[文字] か [背景] をクリックして、OSD 用の色を選びます。[透明化] を選ぶと、OSD の背景は透明になります。

キャプチャ

[キャプチャ] タブでは、フレームのキャプチャ (スナップショット) 方法を設定します。詳細については、73 ページの「お気に入りのシーンのフレームをキャプチャする (スナップショット)」を参照してください。

デフォルトキャプチャモード

- ・ クリップボードにキャプチャする : 画像をクリップボードにキャプチャし、その後他の保存先またはプログラムに手動で貼り付ける場合に、このオプションを選択します。

- ・ **壁紙として中央にキャプチャする**：キャプチャ画像をコンピュータの壁紙として中央に表示する場合に、このオプションを選択します。
- ・ **壁紙として並べてキャプチャする**：キャプチャ画像をコンピュータの壁紙として並べて表示する場合に、このオプションを選択します。
- ・ **ファイルとしてキャプチャする**：キャプチャした画像を特定の形式のファイルとしてコンピュータのスナップショットフォルダに保存する場合に、このオプションを選択します。ドロップダウンメニューから、保存するファイル形式を選択します。[参照]をクリックしてフォルダを選択し、キャプチャした画像の保存先として指定します。

キャプチャアスペクト比

- ・ **元のソースサイズに合わせる**：元の動画サイズ (720X480 や 720X576 など) で画像をキャプチャする場合に、このオプションを選択します。
- ・ **画面サイズに合わせる**：キャプチャ画像を現在の画面サイズに合わせて保存する場合に、このオプションを選択します。
- ・ **カスタムサイズ**：キャプチャ画像のサイズをカスタム設定 (縦横サイズを入力) する場合に、このオプションを選択します。

キーボード / マウス

[キーボード / マウス] タブで、マウススクロールとキーボードの設定をします。

マウススクロール設定

マウスのスクロールホイールを使って実行する機能を、ドロップダウンメニューから選択します。

キーボード設定

このオプションでは、キーボードで [Page Up] (巻き戻し) または [Page Down] (早送り) キーを押したときのタイムシークを指定します。入力した秒数に基づいて、再生中の動画コンテンツを巻き戻し / 早送り (ジャンプ) します。

デフォルト設定

- **[デフォルト設定]** タブで、ディスクコンテンツのデフォルト言語を設定します。**[カスタマイズ]** オプションで、ディスクのメニュー、字幕、音声のデフォルト言語を選択します。
- オペレーションシステムと同一のディスクメニュー、字幕、音声を自動的に表示する場合は、**[ユーザーインタフェースの言語と同一のものを使用する]** を選択します。

注： ただし、デフォルト言語として設定しても、ディスクコンテンツにその言語が含まれない場合は表示されません。

ファイルの関連付け

[ファイルの関連付け] タブでは、CyberLink PowerDVD がデフォルトのプレイヤーの場合の、ファイル形式を設定します。

チェックボックスの意味は以下の通りです。

- ☐ このファイル形式には、CyberLink PowerDVD がデフォルトプレイヤーとして指定されていません。
- ☒ このファイル形式の一部に、CyberLink PowerDVD がデフォルトプレイヤーとして指定されています。
- ☒ このファイル形式のすべてに、CyberLink PowerDVD がデフォルトプレイヤーとして指定されています。

注： 拡張子はカテゴリ別に関連付けを有効化、無効化します（個別には指定できません）。

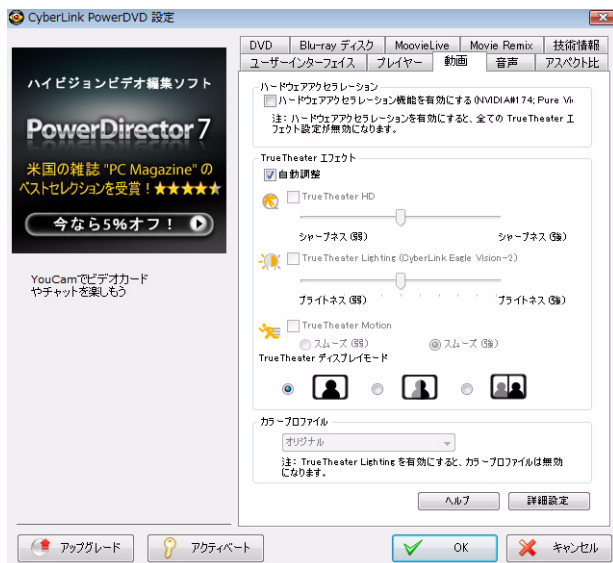
コンピュータでファイルの関連付け一覧にある形式のファイルをダブルクリックすると、CyberLink PowerDVD が自動的に起動して再生を開始します。

- **挿入したディスクを自動再生する**：ディスクをディスクドライブに挿入したときに、CyberLink PowerDVD が自動的に再生を開始するようにするには、このオプションを選択します。

- **IFO ファイルを再生する** : IFO ファイルのデフォルトプレイヤーに CyberLink PowerDVD を設定するには、このオプションを選択します。

動画の設定

[動画] タブでは、CyberLink PowerDVD での動画再生設定を行います。



ハードウェアアクセラレーション

- ハードウェアアクセラレーション機能を有効にする：**このオプションを選択すると、ディスプレイカードの能力が十分である場合に、ハードウェアによる IDCT（逆離散コサイン変換）および動き補償（モーション コンペンセーション）を有効化して、再生をよりスムーズに行います。このオプションを有効にすると、一部の機能は使用できなくなります。

TrueTheater エフェクト

注 : * CyberLink PowerDVD のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

TrueTheater エフェクトは、DVD を最高画質で見るための CyberLink 独自の映像技術です。

注 : TrueTheater エフェクトは、Blu-ray ディスクタイトルの再生時は使用できません。TrueTheater エフェクトは、ハードウェアアクセラレーションが有効になっている間は、使用できません。

- **自動調整** : このオプションを選択すると、TrueTheater エフェクトを適用し、CPU 使用率およびモバイル電源設定 (ノートブックのみ) に応じて、TrueTheater TrueTheater HD と Motion の値を自動調整します。
- **TrueTheater HD** : このオプションを選択すると、元の動画をより高い解像度 (よりシャープ、ノイズなし) にアップスケールします。TrueTheater HD は、480p から 1080p までブースト可能です。スライダを使ってシャープを最適に調節します。
- **TrueTheater Lighting (CyberLink Eagle Vision 2)** : これは、CyberLink 独自の映像技術で、動画コンテンツの明るさ、コントラスト、彩度を調整します。これにより、非常に暗いシーンから明るいシーンまで幅広い映像が入ったムービーを再生する際にも、色の設定を変更する必要はなくなります。スライダを使って、TrueTheater Lighting をお好みのレベルに調整します。
- **TrueTheater Motion** : このオプションを選択すると、フレームレートを 24fps から 60fps にアップサンプリングし、アクションムービー等の動きのあるシーンをよりスムーズに表示します。[スムーズ (弱)] を選ぶと、フレームレートは、元のムービーコンテンツの二倍になります。[スムーズ (強)] を選ぶと、ディスプレイの出力フレームレートによって、DVD コンテンツを毎秒 60 フレームか 72 フレームのフレームレートまで改善します。

TrueTheater ディスプレイモード

[TrueTheater ディスプレイモード] オプションは、TrueTheater エフェクトを有効にしている場合に使用可能で、動画再生中にオプションを選択することができます。

-  を選択すると、全体の映像に TrueTheater エフェクトが適用されます。 を選択すると、左半分には元の映像が、右半分には TrueTheater エフェクトが適用され、両方を比較することができます。 を選択すると、左半分には元の全体映像が、右半分には TrueTheater エフェクトが適用された同一の映像をプレビューします。

注： 比較ディスプレイモードは、ディスクメニューでは機能しません。

カラープロファイル

[カラープロファイル] のドロップダウンメニューからプロファイルを選択し、再生する動画コンテンツのカラースキーム全体を変更します。[オリジナル] を選択すると、再生中のディスクのカラースキームが使用されます。[ビビッド]、[ブライト]、[シアター] では、動画表示の色が向上します。[詳細設定] で、カスタムのカラープロファイルを作成することもできます。詳細については、90 ページの「カラー」を参照してください。

注： TrueTheatre Lighting を有効にすると、カラープロファイル機能が無効になります。

動画詳細設定

[動画] タブでは、動画の詳細設定もできます。詳細設定を行うには、[詳細設定] ボタンをクリックします。次のタブからひとつを選択します。

- スマートデインターレースモード
- デュアルディスプレイモード (オーバーレイとクローンモードを使用)

- ・ カラー
- ・ 画質

注： オプションの一部は、再生時にのみ使用できます。

スマートデインターレースモード

この設定では、ディスプレイ画面の環境設定に応じた変更が可能です。

- ・ デインターレースモードを使用しない場合は、[**使用しない**] を選択します。
- ・ CPU 使用率を低くする場合は、[**使用する**] を選択します。

注： TrueTheater 動画エフェクトが有効になっている場合、デインターレースオプションは使用できません。

- ・ 使用する場合、[**デインターレースの設定**] のドロップダウンリストから選択します。上級ユーザーは、ニーズに合ったオプションを選択してください。
- ・ デインターレースを使用する場合は、[**スマート デインターレースを使用する**] を有効にし、[**ピクセル適合 (アドバンス)**] に設定することをお勧めします。これを設定することで、画像が最適化されます。

デュアルディスプレイモード (オーバーレイとクローンモードを使用)

デュアルディスプレイモードを有効にすると、動画を2台のディスプレイ (たとえばコンピュータのモニターとテレビ) で表示できます。使えるオプションは、お使いのビデオディスプレイカードによって異なります。

注： 現時点では、デュアルディスプレイは Windows Vista では使用できません。

- ・ **通常設定 (ドライバのデフォルト設定を使用)** : ドライバのデフォルトのオーバーレイ動作を使用するには、このオプションを選択します。通常、セカンダリ モニタには黒の画像が表示されます。
- ・ **セカンダリデバイスでフルスクリーン再生 (オーバーレイモードを使用)** : セカンダリ モニタでフルスクリーン再生をする (オーバーレイ モードを使用) 場合に、このオプションを選択します。
- ・ **Same-on-all (オフスクリーンモードを使用)** : プライマリ モニタとセカンダリ モニタの両方に同じ出力画像を表示する (オフスクリーンモードを使用) 場合に、このオプションを選択します。
- ・ **変更なし (VGA ドライバ設定を使用)** : 現在の VGA ドライバの設定 (コントロールパネルで変更可能) を使用するには、このオプションを選択します。

カラー

カラータブを使用すると、動画のカラースキームを手動で設定できます。既定の色スキームを調整したり、カスタムのカラープロファイルを作成したりできます。

カラーコントロール

[カラーコントロール] を調節するには、カラースキームを選択し、希望のエフェクトまでスライダをドラッグします。各カラーの右側のカウンタは、変更の程度を示しています。

注 : 使用しているディスプレイチップによっては、変更できないコントロールもあります。[元に戻す] をクリックすると、変更されたデフォルトのプロファイルを元の値に戻します。これは個人的な動画プロファイルには適用されません。

画質

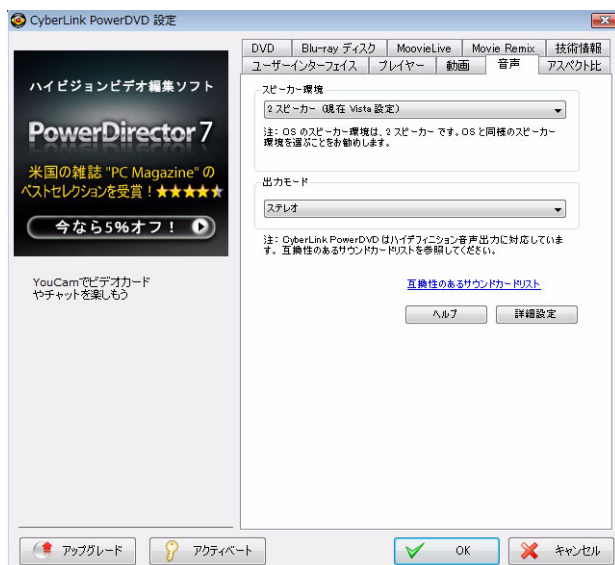
H.264 のコンテンツを再生中は、[画質] タブが表示され、CPU に基づいて画質を設定することができます。

画質オプション

- **自動** : PC で再生時に、自動で最高画質で表示する場合に、このオプションを選択します。
- **最高画質** : CPU を最大限に活用し、最高画質で表示する場合に、このオプションを選択します。
- **高画質** : 再生画質と CPU パフォーマンスを優先する場合は、このオプションを選択します。
- **標準画質** : 画質を下げてスムーズに表示する場合には、このオプションを選択します。

音声の設定

【音声】タブでは、CyberLink PowerDVD での音声の設定をします。



スピーカー環境

使用しているサウンドカードやスピーカーの数に合わせて、適切な【スピーカー環境】を選択します。

- ・【ヘッドフォン】はヘッドフォンを使用して音声を聴くノートパソコンユーザー向けの設定です。
- ・【2 スピーカー】は、スピーカーが2つしかないか、サウンドカードが2チャンネル出力のみに対応するデスクトップやラップトップユーザー向けの設定です。
- ・【4 スピーカー】は、4チャンネル出力をサポートしているサウンドカードを搭載したコンピュータ向けの設定です。

- **[6 スピーカー]** (5.1 チャンネルとも言う) は、6 チャンネル出力に対応したサウンドカードを搭載したコンピュータ向けの設定で、Dolby Digital 5.1 や DTS 5.1 のようなマルチチャンネルエンコーディングに対応する DVD 動画タイトルに適しています。
- **[7 スピーカー]** および **[8 スピーカー]** オプションは、複数のスピーカーを使用して音声を出力したいユーザー向けの設定です。
- **[S/PDIF 使用]** オプションは高度な技術を使用したデジタルインターフェイス (**D**igital **I**nter**F**ace) で、ソニーとフィリップス (Sony、Philips) 両社によって考案された規格です (アナログインターフェイスを介した従来型転送信号に対比)。6 スピーカーを十分にお楽しみいただくには、外部 Dolby Digital/DTS デコーダと S/PDIF 互換サウンドカードが必要です。

注 : S/PDIF 音声出力が有効で、出力ストリームが PCM ではない場合、CyberLink PowerDVD のボリュームコントロールは使用できません (デコーダがタスクを代行するため)。

- **[HDMI 出力]** は、オーディオを HDMI (High-Definition Multimedia Interface) 端子に接続しているユーザー向けの設定です。

注 : Windows Vista のみ、HDMI 出力が可能です。

出力モード

このオプションを使用すると、オーディオ信号で使用される特定の処理を指定できます。利用可能な設定を試して、お好みの設定を選択します。

注 : **[出力モード]** のドロップダウンメニューに表示されるオプションは、**[スピーカー環境]** での選択内容や使用しているコンピュータの設定によって異なります。

- **[Dolby Surround Compatible Downmix]** と **[ステレオ]** の主な違いは、Dolby Surround では Dolby Surround ダウンミックスアルゴリズムが使用され、また Dolby Surround 用に 4 チャンネルサラウンドサウンド (左、右、中央、サラウンド) を有効化するため、アナログの Pro Logic デコーダがサウンドカードに接続されている可能性があることです。このほかの点については、2 チャンネル出力と類似しています。
- **[Dolby Headphone]** はバーチャルサラウンドサウンドを作り出す後処理エフェクトで、特にヘッドフォン環境に最適ですが、ノートパソコンやデスクトップ環境においても有効です。詳細については、97 ページの「Dolby Headphone」を参照してください。
- **[TrueTheater Surround* (CyberLink ヘッドフォン)]** は、ノートパソコン音声をヘッドフォンで出力する際の音質を高めるために、CyberLink が開発した技術です。[詳細設定] では、リビングルーム、シアター、スタジアムといった異なるリスニング環境として設定できます。詳細については、98 ページの「TrueTheater Surround (ヘッドフォンモード) - オプション」を参照してください。
- **[Dolby Virtual Speaker]*** オプションを使用すると、2 つのスピーカーでバーチャルサラウンドサウンドが楽しめます。詳細については、98 ページの「Dolby Virtual Speaker」を参照してください。
- **TrueTheater Surround* (CyberLink バーチャルスピーカー) :** は、CyberLink が開発したバーチャルサラウンド技術です。詳細については、100 ページの「TrueTheater Surround (バーチャルスピーカーモード) - オプション」を参照してください。
- **TrueTheater Surround* (CyberLink マルチチャンネル環境印象テクノロジー 2) :** CyberLink が開発したオーディオチャンネル拡張技術で、ステレオオーディオサウンドを変換して複数のチャンネルに出力します (2 チャンネルの音源を 4、6、7、8 スピーカーに、または 2 チャンネルの音源を 7、8 スピーカーに変換)。詳細については、100 ページの「TrueTheater Surround」を参照してください。

- **Dolby Pro Logic IIx*** : には、3 つのオプションがあります。詳細については、101 ページの「Dolby Pro Logic IIx (オプション)」を参照してください。

注 : * CyberLink PowerDVD のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

S/PDIF 出力モード

Blu-ray ディスクの再生時に、S/PDIF がスピーカー環境として選択されている場合、以下の出力モードが使用できます。選択すべきモードは、コンピュータに接続されている外部デコーダ (AV 受信機) によって異なります。

- **主音声のみ** : このモードでは、主映像の音声のみが出力されます (Picture-in-Picture、セカンダリビデオストリーム、監督の解説には音声が付きません)。圧縮された音声形式は外部デコーダ (AV 受信機) にパススルーされます。

注 : 主音声形式が Dolby Digital、DD+、DTS、DTS-HD 以外である場合、両方の音声信号が同時に出力されます。

- **Dolby Digital ミキシング** : このモードでは、主映像の音声と副映像の音声をミキシングして Dolby Digital ビットストリームにエンコードすることで、両方の音声信号が同時に出力されます。使用している外部デコーダ (AV 受信機) が Dolby Digital に対応する場合に、このオプションを選択します。
- **DTS ミキシング** : このモードでは、主映像の音声と副映像の音声をミキシングして DTS ビットストリームにエンコードすることで、両方の音声信号が同時に出力されます。使用している外部デコーダ (AV 受信機) が DTS に対応する場合に、このオプションを選択します。

HDMI 出力モード

以下の出力モードは、Windows Vista の環境で、外部デコーダ (AV 受信機) が HDMI 端子に接続されている場合に使用できます。選択すべきモードは、コンピュータに接続されている外部デコーダ (AV 受信機) によって異なります。

- **PCM (PowerDVD でデコード)** : このモードでは、アナログ信号のデジタル表現を作成します。このオプションは、使用している外部デコーダ (AV 受信機) が、デジタル音声出力向けに Dolby Digital か DTS に対応していない場合に選択します。
- **デコードされていない Dolby Digital/DTS オーディオを外部デバイスへ** : このモードでは、圧縮された音声形式が外部デコーダ (AV 受信機) に渡されます。このオプションは、アンプや受信機が、再生時に Dolby Digital か DTS に対応している場合に選択します。
- **デコードされていないハイデフィニション音声を外部デバイスへ (HDMI 1.3 のみ)** : このモードでは、Lossless の音声形式が外部デコーダー (AV 受信機) に渡されます。このオプションは、アンプ / レシーバーが、再生時にハイデフィニション音声に対応している場合に選択します。

音声の詳細設定

[音声] タブの [**詳細設定**] をクリックすると、再生時音声の詳細設定ができます。

注 : 音声詳細で表示されるオプションは、選択したスピーカー環境によって異なります。選択した環境に合った設定を確認します。

その他の設定

このタブでは、マルチチャンネルエンコーディングに対応する DVD の音声を設定できます。

ダイナミックレンジ圧縮

このセクションは、Dolby Digital テクノロジーに対応するディスクにのみ対応します。

- 集中してムービーを楽しみたい場合、[**静かな環境**] を選択します。聞き取り可能な音はすべて、低周波から高周波まで際立ったものとなり、Dolby Digital のダイナミックレンジをフル活用したものとなります。
- 聴取環境で Dolby Digital のダイナミックレンジをフル活用しない場合、[**標準的な環境**] を選択します。Dolby Digital 音声スペクトルの極端な範囲にあたる音声エフェクトは圧縮されます。
- ノートパソコンまたはラップトップで CyberLink PowerDVD を使用しているユーザーには、この最後のオプションが適しています。[**騒がしい環境**] では、低域のオーディオ信号が増幅され、聴取可能な音量が増します。

バスマネージメント

低音を高め、Dolby Digital か DTS 拡張ディスクの LFE エフェクトを強化する場合は、このオプションを選択します。ヘッドフォンや、2 スピーカー、4 スピーカーの環境で効果があります。

ヘッドフォンの設定

次のオプションは、[音声] 設定の [スピーカー環境] で [ヘッドフォン] を選択している場合に使用できます。

Dolby Headphone

[Dolby Headphone] オプションは、Dolby Headphone 出力時に選択します。

注 : * CyberLink PowerDVD のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

モード

聴取環境にあわせて、次のモードから 1 つを選択します。

- **DH1** : 映画と音楽の録画 / 録音用の小さな防音個室をシミュレートします。これは Dolby Headphone の「Reference Room」に相当し、Dolby Headphone 対応の製品すべてに付属しています。
- **DH2** : より音響効果に優れた音楽聴取に最適なライブ ルーム (ジャズクラブなど) をシミュレートします。
- **DH3** : コンサートホールや映画館のような広い場所をシミュレートします。

TrueTheater Surround (ヘッドフォンモード) - オプション

TrueTheater Surround (ヘッドフォンモード) の詳細オプションでは、異なる聴取環境をシミュレートできます。

注 : * CyberLink PowerDVD のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

TrueTheater Surround (ヘッドフォンモード)

- **リビングルーム** : 映画と音楽の録画 / 録音用の小さな防音個室をシミュレートします。
- **シアター** : 音楽聴取に最適な、ライブ コンサート環境をシミュレートします。
- **スタジアム** : より大きなコンサート環境をシミュレートします。

注 : この音声オプションは、プログラムの登録後に使用可能となります。詳細については、8 ページの「ソフトウェアのアップグレード」を参照してください。

2 スピーカーの設定

次のオプションは、[音声] 設定の [スピーカー環境] で [2 スピーカー] を選択している場合に使用できます。

Dolby Virtual Speaker

Dolby Virtual Speaker テクノLOGYを使用すると、2つのスピーカーでバーチャルサラウンドサウンドを楽しめるようになります。

注 : * CyberLink PowerDVD のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

モード

- ・ **標準** : 2つのスピーカーの距離で規定するフロントイメージ全体にわたる音の幅から、2つのスピーカーで5スピーカーサラウンドサウンドを作り出します。
- ・ **ワイド 1** : 2つのスピーカーを近づけて置いた場合に、より広がりのあるフロントイメージを実現します。
- ・ **ワイド 2** : このモードは[ワイド 1]に似ていますが、サラウンドスピーカーがより強調されます。

TrueTheater Surround (バーチャルスピーカーモード) - オプション

TrueTheater Surround (バーチャルスピーカー モード) は、CyberLink が開発したバーチャルサラウンド技術です。

注 : * CyberLink PowerDVD のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

- ・ **リビングルーム** : 映画と音楽の録画 / 録音用の小さな防音個室をシュミレートします。
- ・ **シアター** : 音楽聴取に最適な、ライブ コンサート環境をシュミレートします。
- ・ **スタジアム** : より大きなコンサート環境をシュミレートします。

4/6/7/8 スピーカーの設定

次のオプションは、[音声] 設定の[スピーカー環境]で4、6、7、8スピーカーを選択している場合に使用できます。

TrueTheater Surround

TrueTheater Surround (マルチチャンネル環境印象モード) は、CyberLink が開発したオーディオ チャンネル拡張技術で、ステレオオーディオサウンドを変換して複数のチャンネルに出力します (2チャンネルの音源を4、6、7、または8スピーカーに、または2チャンネルの音源を7または8スピーカーに変換)。

注 : *CyberLink PowerDVD のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

モード

- **ムービー再生** : ムービーの再生に適しています。
- **ミュージックモード - スタンダード** : 聴衆の間で演奏するコンサートをシミュレートします。
- **ミュージックモード - オンステージ** : ステージでのコンサートをシミュレートします。

設定

- スライダを使用して、選択したモードの [前]、[後]、[中央]、[**LFE**] (low frequency effect) レベルを設定します。[**デフォルト**] をクリックすると、スライダが元のレベルに戻ります。

注 : 使用しているスピーカーが 120Hz の低周波信号を出力できない場合、スピーカーの破損を避けるため、LFE の使用を控えることをお勧めします。

Dolby Pro Logic IIX (オプション)

Dolby Pro Logic IIX は、3 つのオプションがあります。

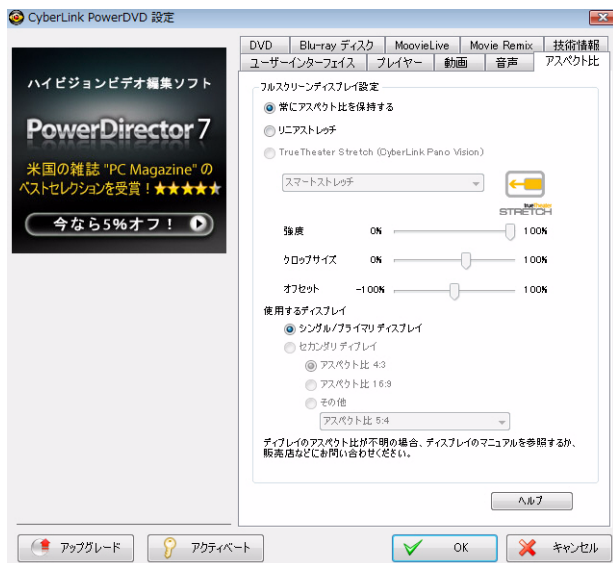
注 : *CyberLink PowerDVD のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

モード

- **ムービーモード** : ムービーの視聴にはこのオプションを選択します。
- **ミュージックモード** : 音楽を聴くにはこのオプションを選択します。
- **DDEX mode** : サラウンド サウンドで聴くにはこのオプションを選択します。

アスペクト比の設定

[アスペクト比] タブでは、アスペクト比 4:3 の映像を 16:9 に変換する (あるいはその逆) 設定ができます。



フルスクリーンディスプレイ設定

- ・ **常にアスペクト比を保持する** : ビデオディスプレイのサイズ (アスペクト比) を変更しても、アスペクト比は変わりません。このオプションは、TrueTheater Stretch オプションには対応しません。
- ・ **リニアストレッチ** : 動画全体を平均的にストレッチします。ビデオディスプレイとモニタのアスペクト比が合わない、ゆがみが大きくなります。

- **TrueTheater Stretch * (CyberLink Pano Vision)** は、非線形のビデオストレッチング技術で、画像中央のゆがみを最少に抑えます。TrueTheater Stretch 機能は、フルスクリーンモードでのみ使用できます。ワイドスクリーンのアスペクト比の DVD に適しています (例 : 4:3 モニタで 16:9 が最適)。この機能では CyberLink 独自の Pano Vision 映像技術によりムービーをストレッチし、モニターのサイズに合わせます。次のいずれかを選択します。

注 : * CyberLink PowerDVD のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。この機能は、DxVA 使用時に Blu-ray ディスクを再生する間、無効になります。

- **[スマートストレッチ]** オプションはほとんどの動画に推奨できるもので、画像の中央はそのまま、端を少しカットしたりストレッチしたりします。
- **[ストレッチスクリーン]** オプションは、画像の中央はそのまま、端をわずかにストレッチします。
- **[スマート 2.35:1]** オプションは、2.35:1 のアスペクト比のディスクに適しています。この設定では、2.35:1 のアスペクト比のディスクを再生する場合、ワイドスクリーン (16:9 か 16:10) の画面に最大に表示します。
- **[カスタムストレッチ]** オプションを使って、出力画像のアスペクト比をカスタマイズします。**[強度]** スライダーを使って、ストレッチする画像のカーブをカスタマイズします。**[クロップサイズ]** スライダーを使って、画像のどちらかの側のクロップマージン (切り取る余白) を設定します (16:9 ディスプレイで 4:3 コンテンツを再生する場合、上と下、4:3 ディスプレイで 16:9 コンテンツを再生する場合、右と左)。**[オフセット]** スライダーを使って、画像の位置を決めます。スライダーを使って、特定のディスプレイに合ったカスタムストレッチを行います。

使用するディスプレイ

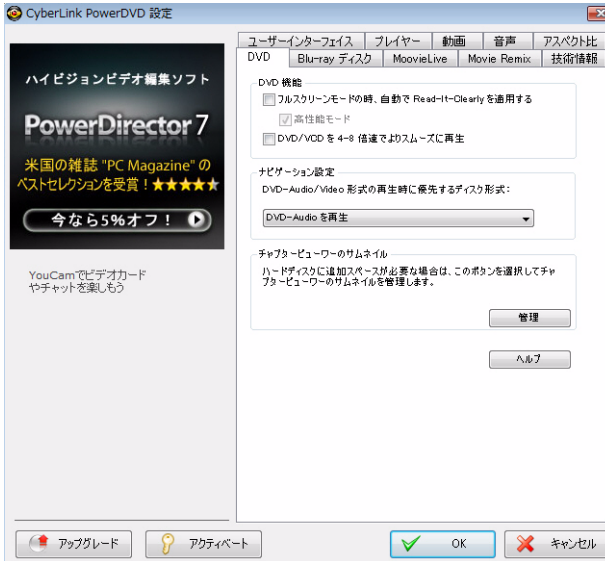
複数のディスプレイを使用している場合、デフォルトとして使用するディスプレイを選択します。

- ・ **セカンダリディスプレイ**：このオプションは、クローンモードでのみ使用できます。[セカンダリディスプレイ]を使用する場合は、画面解像度を定めるアスペクト比を選択します。ディスプレイのアスペクト比が 4:3 でも 16:9 でもない場合、[その他]を選択し、別のアスペクト比をドロップダウンメニューから選びます。

注： クローンモードの場合、両方のディスプレイの解像度は同じになります。ただし、使用するディスプレイが 4:3 で、別のディスプレイが 16:9 の場合、16:9 のディスプレイで再生する映像にはゆがみが生じます。使用するデバイスは[セカンダリディスプレイ]に、アスペクト比は[16:9]に設定すると、4:3 の映像はゆがみますが、16:9 の映像は正しく表示されます。

DVD の設定

[DVD] タブを使って、DVD の再生設定をします。



DVD 機能

[DVD] 機能オプションでは、DVD や VCD 再生時のオプション設定を行います。

注： このオプションは、メディアを再生していない時に設定できます。

- ・ **フルスクリーンモードの時、自動で Read-It-Clearly を適用する**：フルスクリーン上で字幕が見にくい場合、このオプションを選択して字幕の位置を移動します。
- ・ **高性能モード**：Read-It-Clearly を使用中に、このオプションを選択すると性能がアップします。

注 : :VGA ドライバを最新の状態にアップグレードしてから、**[高性能モード]**を有効化することをお勧めします。

- **DVD/VCD を 4-8 倍速でよりスムーズに再生** : このオプションを使用すると、DVD や VCD を 4 倍速、8 倍速で再生しても、スムーズに再生されます。

ナビゲーション設定

ディスクドライブに DVD-Audio と DVD-Video の両形式が混在するハイブリッド ディスクが挿入された場合に、CyberLink PowerDVD で再生するデフォルトの形式を指定します。

チャプタービューワーのサムネイル

チャプタービューワーを使用すると、CyberLink PowerDVD はコンピュータに全チャプターのサムネイルを保存します。サムネイルを削除し、ディスクの空き容量を確保するには、次の操作を行います。

1. **[管理]** ボタンをクリックします。
2. 削除するタイトルのサムネイルをリストから選択します。
3. **[削除]** をクリックして、コンピュータから選択した画像を削除します。**[閉じる]** をクリックすると、**[DVD]** 設定タブに戻ります。

Blu-ray ディスクの設定

[Blu-ray ディスク] タブを使って、Blu-ray ディスクの再生設定をします。

注 : * CyberLink PowerDVD のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。



国コード

Blu-ray ディスクの一部は、国コードが指定されており、該当コードを選択時のみ再生可能です。

- ・ [システムのデフォルトの国を使用] を選択して、オペレーションシステムと同じ国を使用します。

- ・ **[ユーザー定義]**を選択し、ドロップダウンメニューから CyberLink PowerDVD で使用する国を選択します。

リージョンコード

[リージョンコード]セクションで、コンピュータの Blu-ray ディスクドライブのリージョン設定を管理、変更します。

注： ディスクドライブのリージョン設定の変更は、5 回まで行えます。

- ・ ディスクドライブに設定するリージョンを選択します。特定のリージョンに設定すると、そのリージョンのタイトルだけをディスクドライブおよび CyberLink PowerDVD で再生できるようになります。
- ・ **残りの変更可能回数**：変更を実施できる残り回数が表示されます。

BD-J アプリケーション認証

- ・ **認証が無効の場合に接続する**：ディスクのデジタル署名が確認できない、あるいは無効の状態では Blu-ray ディスクの BD-J コンテンツにアクセスする場合、CyberLink PowerDVD は、継続的にインターネットを使用するか、メッセージを表示します。コンテンツが安全でない場合があるためです。このオプションを選択すると、CyberLink PowerDVD は表示なしに、継続的に BD-Live サイトに接続します。
- ・ **BD-J キーボード対応を有効化**：BD-J コンテンツでキーボードに対応させる場合に、このオプションを選択します。

注： この機能を有効にすると、CyberLink PowerDVD のホットキーはすべて無効になります。

Blu-ray ディスクの設定

[Blu-ray ディスク]タブでは、Blu-ray ディスクの詳細設定を行うこともできます。追加設定を行うには、**[BD-Live]**タブの**[詳細設定]**ボタンをクリックします。

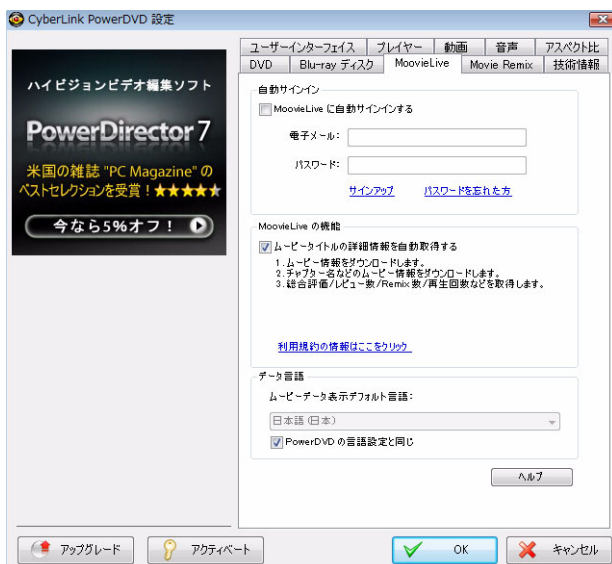
ローカルストレージ

[ローカルストレージ] は、インターネットからダウンロードしたコンテンツ(仮想パッケージメディアなど)を保存するのに使います。

デフォルトの場所を変更する場合は、[参照]をクリックして保存するディレクトリを選択します。[管理]をクリックして、コンピュータからこの追加コンテンツを削除し、ディスクの空き容量を確保することもできます。

MoovieLive の設定

[MoovieLive] タブで、CyberLink PowerDVD と MoovieLive ウェブサービスの関係を設定します。



自動サインイン

CyberLink PowerDVD 起動時に、自動的に MoovieLive にサインインする場合に、このオプションを選択します。

- **[MoovieLive に自動サインインする]** を選択して、自動的に MoovieLive にサインインします。

注： ユーザー名とパスワードがない場合は、**[サインアップ]** を選択してサインアップしてください。

MoovieLive の機能

このオプションを使用すると、ディスク挿入時にディスク情報をダウンロードしたり、ムービーのレビューや Movie Remix をアップロードしたりといった、MoovieLive の詳細機能や利点を CyberLink PowerDVD で使用できるようになります。

注： 詳細情報を取得するには、MoovieLive のプライバシーポリシーに同意する必要があります。リンクをクリックすると、プライバシーポリシーの詳細ページが表示されます。

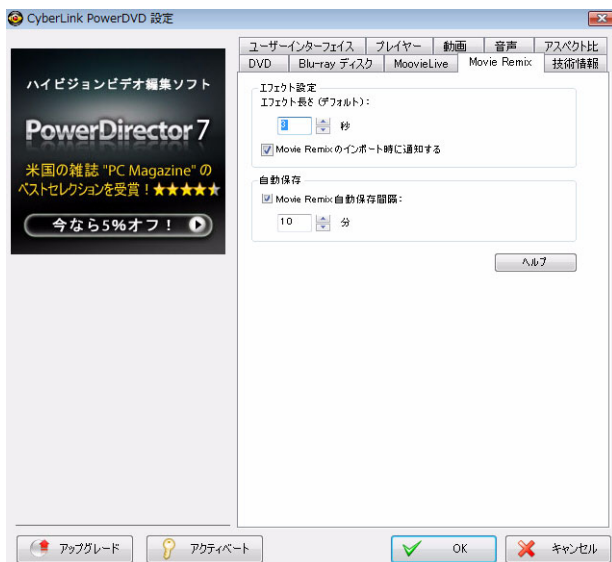
データ言語

[データ言語] オプションを使用すると、CyberLink PowerDVD に表示される MoovieLive サイトのムービー情報の言語を選択できます。

- **[PowerDVD の言語設定と同じ]**を選択すると、[ユーザーインターフェイス] タブで指定している言語と同じ言語が使用されます。詳細については、86 ページの「動画の設定」を参照してください。
- 別の言語を選択するには、**[PowerDVD の言語設定と同じ]**の選択を解除し、ドロップダウンメニューで言語を選択します。

Movie Remix の設定

[Movie Remix] タブで、Movie Remix 作成時の設定をします。



エフェクト設定

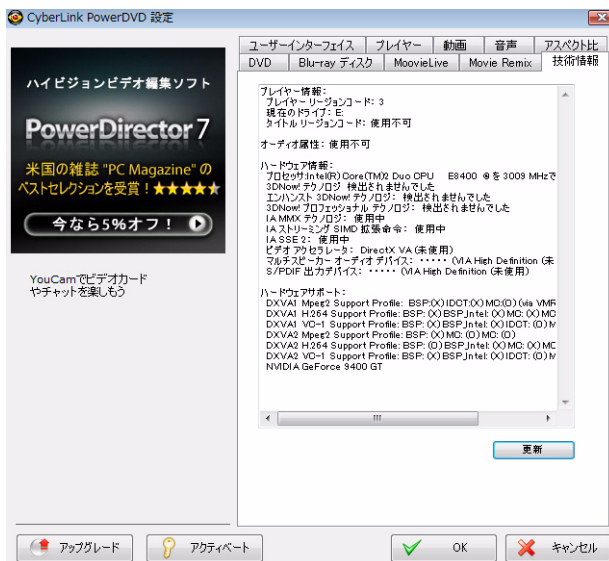
- **エフェクト長さ (デフォルト) :** Movie Remix に追加するエフェクトの表示時間を秒単位で入力します。
- **Movie Remix のインポート時に通知する :** このオプションを選択すると、新しい Movie Remix をインポートする前に通知を表示します。

自動保存

- **Movie Remix 自動保存間隔 :** CyberLink PowerDVD で作成する Movie Remix の自動保存時間を入力します。

技術情報

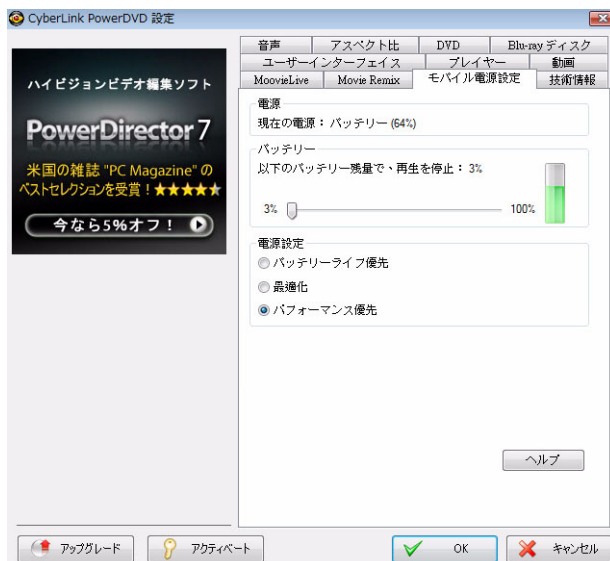
「技術情報」タブでは、再生中のディスク、コンピュータのディスクドライブ、ハードウェア情報等の詳細を表示します。



注： 表示される情報は、お使いのコンピュータの内容によって異なります。情報の一部は、英語で記載される場合があります。

モバイル電源の設定

バッテリー駆動のノートパソコンまたはラップトップで CyberLink PowerDVD を使用している場合、バッテリー残量に注意する必要があります。[モバイル電源設定]では、電源設定を選択して、バッテリーが指定レベル以下になった場合に再生を停止します。



電源ステータス

電源ステータスのエリアには、現在コンピュータで使用している電源 (バッテリーまたは電源コード) が表示されます。

バッテリー

ノートブック/ラップトップをバッテリー駆動している場合、[バッテリー]オプションを使って、再生を停止するバッテリーレベルを指定します。

- ・ スライダを使用して、パーセンテージで指定します (3%-100%)。

電源設定

[電源設定]では、電源の使用方法与再生パフォーマンスを設定できます。

- ・ **バッテリーライフ優先**：パフォーマンスを若干犠牲にして長時間再生を行うには、このオプションを選択します。
- ・ **最適化**：品質とパフォーマンスのバランスを等しくするには、このオプションを選択します。
- ・ **パフォーマンス優先**：バッテリーライフよりも再生の質を優先するには、このオプションを選択します。

バックライトの設定

バッテリー駆動のノートブック/ラップトップでコンテンツを再生する際のバックライト設定を行います。

注： この機能は Windows Vista でのみ使用できます。

- ・ **バッテリー使用時にバックライトの明るさを調整**：ノートパソコンまたはラップトップのバックライトを暗くしてバッテリー消費を節約するには、このオプションを選択します。
- ・ **バッテリー使用時に動画画質の強化により明るさを補正**：バックライトを暗くしてバッテリー消費を節約する際、動画の明るさを補うには、このオプションを選択します。

第5章：

テクニカルサポート

この章では、テクニカルサポート情報について説明します。ユーザが回答を見つけるために役立つ情報が含まれています。ご購入の代理店、販売店にお問い合わせいただくこともできます。

この章の構成は、以下の通りです。

- ・「テクニカルサポートにお問い合わせになる前に」118 ページ
- ・「ウェブサポート」119 ページ

テクニカルサポートにお問い合わせになる前に

CyberLink が提供する無料テクニカルサポートをご利用ください。

- ・ プログラムに組み込まれている「ユーザーガイド」または「オンラインヘルプ」を参照する。
- ・ CyberLink ウェブサイトのサポートページの「ナレッジベース (FAQ)」を参照する。

<http://jp.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do>

FAQ にはユーザーガイドまたはオンラインヘルプよりも新しい情報が掲載されている場合があります。

テクニカルサポートに電子メールまたは電話で連絡する際には、次の情報をあらかじめご用意ください。

- ・ 登録済み **CD キー** (CD キーは、CD ケース、箱、または Cyberlink ストアで製品購入時に受け取った電子メールに明示されています)。
- ・ 製品名、バージョン、ビルド番号 (通常はユーザインターフェイスで製品名をクリックすると表示されます)。
- ・ お使いの Windows のバージョン。
- ・ システムのハードウェアデバイス (キャプチャカード、サウンドカード、VGA カード) およびその仕様。
- ・ 表示された警告メッセージの内容 (メッセージの内容はメモするか、スクリーンショットをとっておいてください)。
- ・ トラブルの詳しい内容と、発生した状況。

ウェブサポート

CyberLink のウェブサポートは、24 時間いつでも無料で利用できます。

注 : ウェブサポートをご利用いただくには、まずメンバー登録を行う必要があります。

CyberLink では、FAQ やコミュニティ フォーラムをはじめとしたさまざまなウェブサポート オプションを、次の言語で提供しています。

言語	ウェブサポート URL
英語	http://www.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do
繁体中国語	http://tw.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do
日本語	http://jp.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do
イタリア語	http://it.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do
ドイツ語	http://de.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do
フランス語	http://fr.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do
スペイン語	http://es.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do

索引

Numerics

- 2 点間リピート 56
- 5.1 チャンネル 93

B

- BD-J アプリケーション 108
- BD-Live 108
- Blu-ray ディスク
 - ポップアップメニュー 69, 71
 - リージョンコード 108
 - ローカルストレージ 109
 - 再生 43
 - 設定 107

C

- CyberLink Pano Vision 62

D

- Dolby Digital
 - 5.1 出力を選択 93
 - pass-through 96
 - その他の設定 97
 - ダイナミックレンジ 97
 - ミキシング 95

- 有効化 96
- Dolby Headphone 94, 97
 - 設定 97
- Dolby Pro Logic IIx 95, 101
- Dolby Surround 94
- Dolby Virtual Speaker 94, 98
 - 設定 98
- DTS 93
 - pass-through 96
 - ミキシング 95
 - 有効化 96
- DVD
 - 再生 43
 - 設定 105

F

- FancyView 43
 - チャプター 52
 - ムービーコレクション 22

H

- H.254 コンテンツ画質 90
- HDMI
 - 出力モード 96
- HDMI 出力 93
- Headphone
 - Dolby 94, 97

TrueTheater Surround 98
モード 98

I

IFO ファイル 85

L

LFE 増幅 97

M

MoovieLive

ムービーを追加 19
概要 18
機能を有効化 111
言語のインポート 111
自動サインイン 110
設定 110
同期 23

MoovieLive と同期 23

Movie Remix

アップロード 40
エクスポート 40
エフェクトの長さ 112
エフェクトの追加 27
クロマキー 33
シーンのトリミング 30
シーンの選択 26
タブ 19
マイ Movie Remix 23
モーション 33
ルーム 25

音声の録音 28

音声を編集 37

概要 25

再生 44

自動保存 112

設定 112

文字の編集 34

Movie Remix をアップロード 40

O

OSD の設定 82

P

Pan & scan 62

pass-through

Dolby Digital 96

DTS 96

PCM 出力 96

PG textST 67

PiP ビデオ 64

PowerDVD について 66

R

Read-It-Clearly 63, 105

S

S/PDIF 93

出力モード 95

Say-It-Again 57

See-It-All 55

SVCD

再生 43

T

TrueTheater

HD 87

Lighting 87

Motion 87

Stretch 62, 103

Surround 94, 98, 100

ディスプレイモード 88

ビデオエフェクト 53, 87

自動調整 87

U

UI

スキン 78

言語 79

UPnP ブラウザ 47

V

VCD

再生 43

あ

アクティベート 66

アスペクト比 61

設定 102

アスペクト比を保持 61

アップグレード 8

アングル 64

アングル切り替え 56, 64

い

移動オプション 61

インポート

字幕 75

え

エクスプレスメニュー

アスペクト比を保持 61

カラオケ 65

クローズドキャプション 65

サイズを合わせてストレッチ

61

移動 61

音声 63

字幕 63

エクスポート

Movie Remix 40

エフェクト

オブジェクト 27

タイトル 36

タイトルテンプレート 28

フレーム 27

モーション 33

音声 28

画像 27

追加 27

編集 30

お

- オーディオ CD 44
- オートレジューム
 - オプション 43
 - 設定 80
- オブジェクト
 - 編集 31
- 主な機能 6
- 音声
 - Movie Remix 28
 - PiP 言語 64
 - プロパティを編集 37
 - 言語 63
 - 詳細設定 96
 - 設定 92
 - 録音 28
- 音声の録音 28

か

- 概要 3
- 拡張機能 54
- 画像
 - 編集 31
- 画面
 - コントロール 61
- カラーコントロール 90
- カラープロファイル 88
- カラオケ 57, 65, 76

き

- キー 76
- キーの調整 76

- キーボード
 - 設定 83
 - 特殊 68
- 技術情報 113
- キャプチャ
 - オプション 74
 - ファイル形式 82
 - フレーム 55, 73
 - 設定 82
 - 保存先 82

く

- 国コード 107
- クラシックモード 3
- グリッド・ビュー
 - チャプター 53
- クローズドキャプション 65
- クロマキー 33

け

- 言語
 - UI の選択 79
- 検索 73

こ

- 高性能モード 105
- コントロール 48
 - ミニプレイヤーモード 66
 - メイン 48
 - 追加 54

さ

サイズを合わせてストレッチ 61

再生

Movie Remix 44

オーディオ CD 44

コントロール 48, 61

ドラッグ & ドロップ 45

ファイル 45

メニュー 70

自動 84

全般 42

続きから再生 65

追加機能 73

再生情報表示 65

し

シーン

トリム 30

選択 26

シーンのトリミング 30

シーンの選択 26

視覚効果 56, 65

視聴

履歴 24

自動サインイン 110

自動調整 87

自動保存 112

シネマモード 5

字幕

Read-It-Clearly 63, 105

インポート 75

主 63

副 63

シャッフル 55

主音声のみ 95

出力

HDMI 96

PCM 96

出力モード 93

新機能 2

す

ズーム

デジタル 63

スキン 78

スタイル 78

ステレオ 94

スナップショット 55, 73

設定 82

スピーカー

環境 92

設定 92

スマート 2.35:1

1 62, 103

スマートストレッチ 62, 103

せ

設定 66, 77

Blu-ray ディスク 107

Blu-ray ディスク詳細設定 108

Dolby Headphone 97

Dolby Virtual Speaker 98

DVD 105

MoovieLive 110

Movie Remix 112

OSD 82

アスペクト比 102

- カラー 90
- スピーカー 92
- チャプタービューワー 106
- ディスクの評価 81
- ノートブック 114
- プレイヤー 80
- プレイヤー詳細 81
- モバイル 114
- ユーザーインターフェイス 78
- ラップトップ 114
- 音声 92
- 音声詳細 96
- 技術情報 113
- 動画詳細 88

そ

- ソース
 - 選択 43

た

- 対応するディスクとファイル形式 42
- ダイナミックレンジ圧縮 96
- タイムサーチ 73

ち

- チャプター
 - タイトルの編集 21
 - ビューワー 52, 61, 71
 - ブラウザ 61, 70
 - メニュー 69

- チャプタービューワー 61, 71
 - FancyView 52
 - グリッド・ビュー 53
 - 設定 106

つ

- 続きから再生 65, 69
 - オプション 43
 - 設定 80
- 常に手前に表示する 81

て

- ディスク
 - 情報 21
 - 対応する形式 42
- データ言語 111
- デジタルズーム 63
- デュアルディスプレイモード 89
- 電源設定 115

と

- 動画
 - 画質 90
 - 詳細設定 88
- 特殊キーボード 68
- ドラッグ&ドロップ再生 45

な

- ナビゲーション

スライダー 49
 ボタン 55
 設定 106
 ナンバーパッド 57

に

認証
 BD-J 108

の

ノートブック電源設定 114

は

バージョン 8
 パーソナルメモ 20
 バーチャルスピーカー 94
 モード 100
 ハードウェア
 アクセラレーション 86
 バックライトの設定 115
 バッテリー 115

ひ

ビューワー
 チャプター 61, 71
 評価の設定 81

ふ

ファイルの関連付け 84
 ファイルの種類 46
 ファイル形式
 対応 42
 ファイル形式の関連付け 84
 ブックマーク
 ビューワー 56
 ブラウザ 61, 70
 移動 59
 次 56
 追加 57, 59
 ブラウザ
 チャプター 61, 70
 ブックマーク 61, 70
 フルスクリリーン 81
 プレイリスト 46
 フレーム
 編集 31

へ

ヘッドフォン 92
 TrueTheater Surround 94
 設定 97
 編集
 タイトル文字 34
 チャプタータイトル 21
 プレイリスト 46

ほ

ホットキー 48, 54, 67
 特殊キーボード 68

ま

- マイムービー 22
 - ムービーを追加 19, 23
- マウス
 - スクロール設定 83
 - 設定 83

み

- ミニプレイヤーモード 66
 - 有効化 66

む

- ムービーコレクション 22
 - FancyView 22
 - Movie Remix 23
 - マイムービー 22
 - ムービーを追加 23
 - 視聴したムービー 24
- ムービー情報ページ 18

め

- メディアを選択 43
- メニュー
 - Blu-ray ディスク 52, 69, 71
 - DVD-VR 71
 - アクセス 69
 - アングル 69
 - タイトル 69
 - チャプター 69
 - ポップアップ 52, 69, 71

ルート 69

音声 69

再生 70

字幕 69

選択 65

続きから再生 69

メニュー / ナンバーパッド 57

も

モーション 33

モード

クラシック 3

シネマ 5

変更 78

モードの変更 78

モバイル電源設定 114

ゆ

有効化

ミニプレイヤーモード 66

ら

ラップトップ電源設定 114

り

リージョンコード

変更 108

リピート 57

れ

レビュー 19

ろ

ローカルストレージ 109

